

多田道太郎著作目録

甲南大学 木 股 知 史
武庫川女子大学 岩 城 万里子

はじめに

本稿は、1946年から1994年8月までに発表された、多田道太郎の著作(翻訳、英文論文をも含む)の目録である。雑誌、新聞、単行本などに初めに発表されたものを、すべて掲載順に掲げた。単行本へ再録された文献については矢印(→)で示した。再録にあたって、表題が変更されたものは、その旨を記した。再録にあたっての加筆・加稿についての調査は行っていない。参考のために、著書の刊行順の一覧を目録の最後に掲げた。『多田道太郎著作集』に関しては略号を用い、例えば、[著1]は、『多田道太郎著作集』第1巻を示している。

各項目には、著作名、掲載誌紙名、書名、発行年月日を記した。雑誌、単行本は年月までを、週刊誌、新聞は年月日を記した。尚、発行月が同じ場合は、雑誌、週刊誌、新聞、単行本の順に記した。単行本は『』で示し、雑誌、週刊誌、新聞、紀要は「」で示した。号数はアラビア数字で統一した。対談は、著書に再録されたもののみ収録した。掲載誌紙名、掲載年月日のわからないものは、未詳とした。

まだまだ不十分なところがあり、遺漏、誤りもあると思われる。諸先学のご教示をお願いする次第である。

●著作目録

- <1946年>昭和21年(22歳)
さ・え・ら 「檸檬」文化時報社 9月
- <1949年>昭和24年(24歳)
ジャン＝ポール・サルトル『唯物論と革命』(翻訳) 「世界文学」世界文学社 6月
→『サルトル全集』10(前半翻訳者：多田道太郎、後半翻訳者：矢内原伊作)
人文書院(1953-5)
エドモン・アブー『伯父と甥』(翻訳) 「世界文学」世界文学社 7月
→エドモン・アブー『伯父と甥』天文書院(1994-4)
ジョルジュ・ロダンバック『死の都プリュージュ』(共訳者：黒田憲治) 思索社 10月
- <1951年>昭和26年(26歳)
人間ルソー(共著者：樋口謹一、鶴見俊輔) 桑原武夫編『ルソー研究』岩波書店 6月
ルソーのコミュニケーション論(共著者：鶴見俊輔、樋口謹一)

桑原武夫編『ルソー研究』岩波書店 6月
 ルソー・プロパガンディスト (共著者：樋口謹一、鶴見俊輔)
 桑原武夫編『ルソー研究』岩波書店 6月
 →桑原武夫編『ルソー研究』第2版 岩波書店 (1968-12)
 →「ルソー・プロパガンディスト」のみ [著1] に「宣伝の人ルソー」
 として再録
 文芸の項 思想の科学研究会編『人間科学の事典』河出書房 11月
 實證的批評のために 「文藝」河出書房 12月
 加藤周一『現代フランス文学論』(書評) 「日本読書新聞」日本読書新聞社 12月 5日
 最近の図書 「新大阪新聞」新大阪新聞社 12月 25日

<1952年>昭和27年(27歳)

近代文学思考 「産業経済新聞」産業経済新聞社 2月 17日
 “ハナシ家の敵” 家元制・伝統・劣等感 「学園新聞」京都大学新聞社 4月 28日
 政治漫画について 「学園新聞」京都大学新聞社 12月 8日
 →『複製芸術論』(勁草書房) 及び同書講談社学術文庫版
 パチンコ未だ衰えず 「毎日新聞」毎日新聞社 12月 9日
 → [著5]

<1953年>昭和28年(28歳)

総合雑誌評 2月号 優れる資料「松川事件」 「学園新聞」京都大学新聞社 2月 2日
 総合雑誌評 8月号 権力者のサイフォン 「図書新聞」図書新聞社 7月 25日
 総合雑誌評10月号 民衆の思想に無関心 珍しく他誌を圧した編集(改造)
 「図書新聞」図書新聞社 9月 26日
 やくざ小説論 「芽」建民社 3月
 →“Japanese Popular Culture”, edited by Kato, Charles Tuttle, 1959
 →『複製芸術論』(勁草書房) 及び同書講談社学術文庫版
 → [著2]
 小市民 岩波講座『文学』2岩波書店 12月
 →『複製芸術論』(勁草書房) 及び同書講談社学術文庫版に
 「小市民の文学意識」として再録
 怪談研究家ノー・ライブラリィの弁 未詳

<1954年>昭和29年(29歳)

花見酒 「朝日新聞」朝日新聞社 4月 13日
 芸術論 (共著者：桑原武夫、鶴見俊輔)
 桑原武夫編『フランス百科全書の研究』岩波書店 6月
 → [著1] に「美学のはじまり」として再録
 長谷川四郎『無名氏の手記』(書評) 「図書新聞」図書新聞社 7月 3日
 吉住留五郎<インドネシア革命軍兵士>(筆名：木山一男) 「思想の科学」講談社 9月
 思想を持つ「七人の侍」「山椒大夫」画面の美しさ
 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 9月 10日
 野間宏『真空地帯』 岩波講座『文学の創造と鑑賞』1 岩波書店 11月
 →『複製芸術論』(勁草書房) 及び同書講談社学術文庫版
 語学ボケ 「奈良女子大新聞」奈良女子大学 未詳

<1955年>昭和30年(30歳)

近藤日出造『日出造膝栗毛』(書評) 「日本読書新聞」日本読書新聞社 1月 1日
 毎日新聞社編『写真昭和30年史』(書評) 「毎日新聞」毎日新聞社 3月 27日
 わたしの書齋論 「書齋の復活」ダイヤモンド社 4月
 →『本棚の風景』(潮出版社)
 パチンコ・マーじゃん・花札 「新大阪新聞」新大阪新聞社 5月 15日
 →『複製芸術論』(勁草書房) 及び同書講談社学術文庫版に
 「娯楽の形式」として再録

→ [著5]

- アンリ・ルフェーヴル『美学入門』（翻訳） 理論社 5月
 ずれ過ぎる時代 「誤解された日本」展を見て 「朝日新聞」朝日新聞社 6月11日
 志す現世このままでの解脱 源氏鶏太と中村武志のサラリーマン小説
 「日本読書新聞」日本読書新聞社 6月13日
 最近のエッセー集から 愛情と分析眼（渡辺）、教訓譚（福原）
 「図書新聞」図書新聞社 6月25日
 砂原宗四郎の生活と思想
 思想の科学研究会編『民衆の座』「河出新書」河出書房新社 6月
 女優侮辱事件について（談話） 「毎日新聞」毎日新聞社 7月2日
 映画に現われた「自然」 「朝日新聞」朝日新聞社 7月3日
 日本シナリオ文学全集3『黒沢明集』（解説） 理論社 10月
 →キネマ旬報賞（第1回）受賞（1956-4）
 →「キネマ旬報」キネマ旬報社（1956-4）に「シナリオにおける黒沢明論」
 として再録
 →『複製芸術論』（勁草書房）及び同書講談社学術文庫版に「黒沢明解説」
 として再録
 →相良竜介編『占領から講和へ』平凡社（1975-6）
 →[著2]に「黒沢明論」として再録
 アルベール・カミュ『夏』（書評） 未詳 12月8日

<1956年>昭和31年（31歳）

- 成瀬巳喜男の人と作品 「キネマ旬報」キネマ旬報社 2月上旬
 フランス映画「洪水の前」を見て（談話） 「毎日新聞」毎日新聞社 2月16日
 週刊ジャーナリズム 「日本読書新聞」日本読書新聞社 2月27日
 フランス革命下のコミュニケーションーその文学史的意義一（共著者：山田稔）
 「人文学報」6 京都大学人文科学研究所 3月
 →桑原武夫編『フランス革命の研究』岩波書店（1959-12）に
 「革命と芸術」として再録
 →『複製芸術論』（勁草書房）及び同書講談社学術文庫版に
 「コミュニケーションと文学」として再録
 →[著1]に「フランス革命下のコミュニケーション」として再録
 国民演劇への第一歩 「新制作座ニュース」10 劇団新制作座 3月1日
 新聞の良識 「新聞協会報」（社）日本新聞協会 3月29日
 →『複製芸術論』（勁草書房）及び同書講談社学術文庫版
 上部構造としての文学 「思想」岩波書店 4月
 →『複製芸術論』勁草書房
 マンガの思想性 「群象」講談社 4月
 山田孝雄『君が代の歴史』（書評） 「毎日新聞」毎日新聞社 4月28日
 ゴシップ哲学（1） 「中央公論」中央公論社 6月
 ゴシップ哲学（2） 「中央公論」中央公論社 7月
 ゴシップ哲学（3） 「中央公論」中央公論社 9月
 ゴシップ哲学（4） 「中央公論」中央公論社 10月
 →[著2]
 瓜生忠夫『日本の映画』（書評） 「日本読書新聞」日本読書新聞社 6月25日
 中間文化というもの 新しい階級の成立（上） 「東京新聞」東京新聞社 7月6日
 中間文化というもの 剣豪の悲惨な最後（下） 「東京新聞」東京新聞社 7月7日
 大衆演芸と庶民性 「学習たより」 8月
 クイズの落し物 「毎日新聞」毎日新聞社 8月15日
 R・マンヴェル『映画と大衆』（書評） 「図書新聞」図書新聞社 9月1日
 木下順二評論集II『芸術と社会への眼』（書評） 「図書新聞」図書新聞社 12月8日
 今年の回顧 世相 「朝日新聞」朝日新聞社 12月21日

<1957年>昭和32年（32歳）

白井吉見『近代文学論争』(上)(書評) 「学園新聞」京都大学新聞社 1月21日
 大型映画・その魅力はあとに退けない 「キネマ旬報」キネマ旬報社 6月下旬
 学者と映画 「日本読書新聞」日本読書新聞社 9月9日
 お化け 「日本読書新聞」日本読書新聞社 11月4日
 テレビに批判眼を 「教養」という言葉の魔術 「朝日新聞」朝日新聞社 11月6日

<1958年>昭和33年(33歳)

花田清輝『大衆のエネルギー』(書評) 「図書新聞」図書新聞社 1月25日
 複製芸術について 「人文学報」8 京都大学人文科学研究所 3月
 →『複製芸術論』(勁草書房)及び同書講談社学術文庫版
 →[著2]に「複製芸術論」として再録
 芸術家の待遇の歴史 「講座 現代芸術II 芸術家」勁草書房 3月
 →『複製芸術論』(勁草書房)及び同書講談社学術文庫版
 黒澤・木下論 「キネマ旬報」キネマ旬報社 4月上旬
 →『黒沢明集成II』キネマ旬報社(1991-5)
 →[著2]に「二つの視角」として再録
 相良守次・他編『芸術心理学講座』(1)(2)(3)(書評) 「日本読書新聞」日本読書新聞社 4月14日
 漫才の思想 「放送朝日」 6月
 →『管理社会の影』(読売選書版)『定本 管理社会の影』(日本ブリタニカ)に
 「マンザイの思想」として再録
 →[著3]
 江崎誠致『爆弾三勇士』(書評) 「日本読書新聞」日本読書新聞社 6月16日
 恥と体面 「講座 現代倫理6 過去につながる習俗と倫理」筑摩書房 6月
 読者の問題 「思想」岩波書店 7月
 →『複製芸術論』(勁草書房)及び同書講談社学術文庫版
 (講演要旨) 不特定の人間を対象とした現代芸術の不安矛盾
 「労映」労働組合映画協議会 7月1日
 野球と群衆 新しい寺院のなかの興奮(上) 「東京新聞」東京新聞社 7月12日
 野球と群衆 野蛮性と厳密性ととの共存(下) 「東京新聞」東京新聞社 7月13日
 寛容と妥協 講座『現代倫理』5 筑摩書房 8月
 「世界は恐怖する」(映画評)
 「京都大学日本映画を見る会推薦 邦画ベストテン発表会」朝日新聞社 12月
 深沢七郎「楢山節考」 NHK京都放送局編『文学への招待』創元社 12月
 野間宏「顔の中の赤い月」 NHK京都放送局編『文学への招待』創元社 12月
 田宮虎彦「絵本」 NHK京都放送局編『文学への招待』創元社 12月
 梶井基次郎「檸檬」 NHK京都放送局編『文学への招待』創元社 12月
 井伏鱒二「黒い雨」 NHK京都放送局編『文学への招待』創元社 12月
 『岩波講座12 日本文学史 近代II』(書評) 「学園新聞」京都大学新聞社 12月1日
 訴える「研究の自由」 科学者の伝記に学ぶ 未詳 12月14日
 ホオジロのはなし 「香里めざまし新聞」香里ヶ丘文化会議 未詳

<1959年>昭和34年(34歳)

ダンチ礼賛 「くらしのABC」5 朝日放送出版部 2月
 泣くということ 「福井新聞」福井新聞社 3月9日
 あわれ「男性飼育論」(筆名:浮雷) 未詳 3月9日
 “目覚めて”いる小道具 「CBCレポート」中部日本放送社 4月
 結婚を芸術にしたい あやかり組への提言 「読売新聞」読売新聞社 4月10日
 講演要旨 映画批評への基準(1)「大阪社会タイムス」大阪社会タイムス社 7月10日
 講演要旨 映画批評への基準(2)「大阪社会タイムス」大阪社会タイムス社 7月17日
 Not Guilty にあらず 「思想の科学」中央公論社 10月
 →『複製芸術論』(勁草書房)及び同書講談社学術文庫版
 壁に当たる犯罪事件(筆名:水野二郎) 「毎日新聞」毎日新聞社 10月31日
 コーラス活動(筆名:水野二郎) 「毎日新聞」毎日新聞社 12月6日

合理的反論を望む 松本清張の下山事件 「産経新聞」産経新聞社 12月26日
 革命と芸術 桑原武夫編『フランス革命の研究』岩波書店 12月
 → [著1] に「大革命の祭典」として再録

<1960年>昭和35年(35歳)

日記 (筆名:水野二郎) 「毎日新聞」毎日新聞社 1月11日
 小型化ブーム (筆名:水野二郎) 「毎日新聞」毎日新聞社 5月 3日
 グロテスクの意味 (筆名:水野二郎) 「毎日新聞」毎日新聞社 5月31日
 家庭主義 (筆名:水野二郎) 「毎日新聞」毎日新聞社 6月28日
 なぜ海や山へ行くか (筆名:水野二郎) 「毎日新聞」毎日新聞社 8月 9日
 盗作 (筆名:水野二郎) 「毎日新聞」毎日新聞社 9月27日
 賭博について (筆名:水野二郎) 「毎日新聞」毎日新聞社 11月15日
 クリスマス (筆名:水野二郎) 「毎日新聞」毎日新聞社 12月20日
 文芸時評 無の地点にいる人間像「自由と契約」が提出する問題
 「産経新聞」産経新聞社 1月13日
 文芸時評 二つの幻をあばくー花田・吉本論争の成果ー
 「産経新聞」産経新聞社 6月 7日
 新しいつきあい 手紙 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 1月25日
 新しいつきあい 寄付 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 1月26日
 新しいつきあい 仲介者 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 1月27日
 新しいつきあい 仲よし 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 1月29日
 新しいつきあい 近所づきあい 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 1月30日
 露天文化 「産経新聞」産経新聞社 2月 1日
 金銭観の問題 『近代日本思想史講座』6 筑摩書房 2月
 →『複製芸術論』(勁草書房)及び同書講談社学術文庫版
 日本タレントロジイ(2)大村崑 阿呆の真実 「CBCレポート」中部日本放送社 5月
 お盆映画の根(談話) 「近代映画」近代映画社 7月
 大衆文化運動 『近代日本思想史講座』5 筑摩書房 9月
 →『複製芸術論』勁草書房
 渡辺一夫『フランス・ルネサンス文芸思潮序説』(書評)
 「日本読書新聞」日本読書新聞社 10月 3日
 疎開もの新体制 「思想の科学」中央公論社 11月
 超短距離 「図書」岩波書店 11月
 →『物くさ太郎の空想力』(冬樹社)及び同書角川文庫版
 総合雑誌評 一月号 出色の「日本探検・出雲大社」 「産経新聞」産経新聞社12月24日
 京都の路地のうどん 「週刊朝日」朝日新聞社 未詳
 テレビ評 “盗作問題”描いた力作 女の流行 未詳
 テレビ評 貧乏のシワに実感 生活に結びついた大衆芸術 未詳
 テレビ評 焼餅やきの幽霊 未詳
 テレビ評 対立しない対談 多いお説教やあいづち 未詳
 テレビ評 “曲り角”にきたお笑い 未詳
 テレビ評 内容に裏切られた敦煌 NHKならではの好企画 未詳
 テレビ評 「暗殺」より「明殺」 事件アイマイにしたマスコミ 未詳
 テレビ評 痛快なうさばらし 未詳
 テレビ評 今日のモラルか 信頼されるヌーボー亭主 未詳
 テレビ評 子ども心とらえた傑作 未詳
 テレビ評 「君の名は」のテレビ版 あの波の果てまで 未詳
 カラー放送を見て 未詳

<1961年>昭和36年(36歳)

総合雑誌評 二月号 低調な各人名説 「産経新聞」産経新聞社 1月28日
 総合雑誌評 三月号 消費ブーム終着駅 「産経新聞」産経新聞社 2月25日
 総合雑誌評 四月号 光る竹内好の論文 「産経新聞」産経新聞社 3月27日
 総合雑誌評 五月号 台頭する宇宙主義 「産経新聞」産経新聞社 4月29日

総合雑誌評 六月号 『世界』の国際政治記事	「産経新聞」産経新聞社	5月22日
総合雑誌評 奇抜な“東京湾埋め立て案”	「産経新聞」産経新聞社	6月26日
総合雑誌評 設備投資をめぐって政暴法が焦点	「産経新聞」産経新聞社	7月28日
『世界文学全集17 ソラ』（解説）	河出書房新社	2月
三島由起夫『宴のあと』	「日本小説をよむ会会報」11 日本小説をよむ会	3月
「遺書」としての思想の土着	「思想の科学」中央公論社	5月
古きものの破壊	共同通信社配信	7月
日米映画に現れた人間像「合理主義」と「悪」		
（「日本映画を見る会」での討議内容のまとめ）	「朝日新聞」朝日新聞社	9月16日
文学者流の考え方	「思想」岩波書店	12月
→『複製芸術論』（勁草書房）及び同書講談社学術文庫版		
→日本文学研究資料叢書『私小説』有精堂（1983-5）		
→〔著6〕に「文学者流の考え方—広津和郎」として再録		

<1962年>昭和37年（37歳）

松本清張の秘密	「朝日新聞」朝日新聞大阪本社	1月 4日
押しくらまんじゅう	「産経新聞」産経新聞大阪本社	2月 8日
狂気について	「産経新聞」産経新聞大阪本社	2月15日
わたしの方言	「産経新聞」産経新聞大阪本社	2月22日
うつりかわり	「産経新聞」産経新聞大阪本社	3月 1日
酒	「産経新聞」産経新聞大阪本社	3月 8日
語学趣味	「産経新聞」産経新聞大阪本社	3月15日
家族	「産経新聞」産経新聞大阪本社	3月22日
デスク	「産経新聞」産経新聞大阪本社	3月29日
ちょっとそこまで	「産経新聞」産経新聞大阪本社	4月 5日
旅行ざらい	「産経新聞」産経新聞大阪本社	4月12日
野球ファン	「産経新聞」産経新聞大阪本社	4月19日
手紙	「産経新聞」産経新聞大阪本社	4月26日
駄犬	「産経新聞」産経新聞大阪本社	5月 3日
群集教室	「産経新聞」産経新聞大阪本社	5月10日
レッスン	「産経新聞」産経新聞大阪本社	5月17日
はやりすたり	「産経新聞」産経新聞大阪本社	5月24日
ニュータウン	「産経新聞」産経新聞大阪本社	5月31日
よろしく	「産経新聞」産経新聞大阪本社	6月 7日
理想ばなれ	「産経新聞」産経新聞大阪本社	6月14日
職業の表情	「産経新聞」産経新聞大阪本社	6月21日
新書のすすめ	「産経新聞」産経新聞大阪本社	6月28日
咲子さんちよっと	「産経新聞」産経新聞大阪本社	7月 5日
道路のこども	「産経新聞」産経新聞大阪本社	7月12日
祇園祭り	「産経新聞」産経新聞大阪本社	7月19日
夢遊について	「産経新聞」産経新聞大阪本社	7月26日
発想と論理（1）	「思想の科学」思想の科学社	4月
発想と論理（2）	「思想の科学」思想の科学社	6月
発想と論理（3）	「思想の科学」思想の科学社	9月
大衆芸術	「思想の科学」思想の科学社	5月
夢野久作『ドグラ・マグラ』	「日本小説をよむ会会報」25 日本小説をよむ会	6月
→〔著6〕		
『日本人の知恵』（共著者：林家辰三郎、梅棹忠夫、加藤秀俊）	中央公論社	9月
→「中公文庫」中央公論社		
映像雑感	「朝日新聞」朝日新聞社	10月～1964年 7日
→『複製芸術論』（勁草書房）及び同書講談社学術文庫版		
伝統ある日本の庶民芸術（談話）		未詳 10月 9日
ホオジロのはなし	「日本小説をよむ会会報」30 日本小説をよむ会	12月
大衆映画時評 くずれる集団への信頼	（共同通信社配信）	12月23日

『ルソー』（編者：桑原武夫，共著者：河野健二、樋口謹一）

「岩波新書」岩波書店 12月

<1963年>昭和38年（38歳）

- テレビ時評 現代版夜店あるきクイズは茶の間のショッピング
「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 1月17日
- テレビ時評 紙芝居的な世界 日本の少年とマンガ『鉄腕アトム』
「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 6月23日
- テレビ時評 記録フィルム生命は意外性 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 9月1日
- テレビ時評 “絵づくり”より“顔づくり”を 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 未詳
- テレビ時評 和楽の夢と現実 家庭に必要な“おどけ鏡”
「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 未詳
- テレビ時評 社会に通ぜぬ「家庭」の情愛
「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 未詳
- テレビ時評 罪の意識（ニッポン）（アメリカ）の甘さ・辛さ
「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 未詳
- トルストイ『復活』（解説） 『世界文学全集』11 河出書房新社 2月
→『世界文学全集46トルストイ 復活 イワン・イリイチの死』
河出書房新社（1969-9）
→『文芸読本トルストイ』河出書房新社（1980-1）
- 男と女 「芸能史研究」1 4月
- 野球戯評 ホームラン 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 4月16日
- 野球戯評 死と生と 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 5月9日
- 野球戯評 スイッチ・ヒッター 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 6月21日
- 野球戯評 新しい神 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 7月10日
- 野球戯評 夢か うつつか 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 7月21日
- 野球戯評 秩序の美 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 7月31日
- 野球戯評 ホームイン 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 8月25日
- 野球戯評 犠牲バント 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 9月13日
- 野球戯評 ゲーム差 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 9月20日
- 野球戯評 審判神聖 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 9月26日
- 野球戯評 野球ざらい 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 11月21日
→『野球戯評』（地球書館）及び同書講談社文庫版
- 松本清張の「私」 「文藝」河出書房新社 6月
→『管理社会の影』（読売選書版）
- 大杉栄 『20世紀を動かした人々2 近代日本の思想家』（編者：桑原武夫，
共著者：河野健二、上山春平、樋口謹一）講談社 6月
- 日本人の広告風土 「月刊広告」 7月
→『管理社会の影』（読売選書版）に「広告のある風景」として再録
→天野祐吉編『日本の名随筆 広告』作品社（1993-1）
→〔著5〕に「広告の風土」として再録
- 三次 「朝日ジャーナル」朝日新聞社 7月
→『管理社会の影』（読売選書版）
- 小林信彦『喜劇の王様たち』（書評） 「週刊読書人」（株）読書人 7月15日
→『小林信彦の世界』新評社（1981-12）
- 『身辺の思想』（共著者：樋口謹一、加藤秀俊、山田稔） 講談社 8月
- 流行歌にみる大衆思想 「思想の科学」思想の科学社 10月
- 『孤独な散歩者の夢』覚書 「人文学報」18 京都大学人文科学研究所 10月
→桑原武夫編『ルソー論集』岩波書店（1970-8）に
「『孤独な散歩者の夢』について」として再録
→〔著1〕に「『孤独な散歩者の夢』」として再録
- 淡路島 「朝日ジャーナル」朝日新聞社 10月13日
- 私と『学徒出陣』沈みがちだった歓送会 「サンデー毎日」毎日新聞社 12月8日
- 京都 「国文学 解釈と鑑賞」学燈社 12月

<1964年>昭和39年(39歳)

- オリンピックを考える(上) 「東京新聞」東京新聞社 2月6日
 オリンピックを考える(下) 「東京新聞」東京新聞社 2月7日
 高見順『いやな感じ』 「日本小説をよむ会会報」43日本小説をよむ会 3月
 「いやな感じ」の余白に 「思想の科学」思想の科学社 4月
 →『物くさ太郎の空想力』(冬樹社)及び同書角川文庫版に
 「三下奴」として再録
 マンガの主人公 ひね子さん 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 4月25日
 マンガの主人公 男やもめの巖さん 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 6月7日
 マンガの主人公 只野凡児 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 7月12日
 マンガの主人公 タンク・タンクロー 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 8月16日
 マンガの主人公 ヤネウラ3ちゃん 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 未詳
 マンガの主人公 鉄腕アトム 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 未詳
 マンガの主人公 無軌道父娘 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 9月6日
 マンガの主人公 デンスケ 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 10月31日
 →『マンガの主人公』(至誠堂)
 →『昭和マンガのヒーローたち』(講談社)
 →「男やもめの巖さん」「只野凡児」「タンク・タンクロー」
 「ヤネウラ3ちゃん」「鉄腕アトム」のみ[著2]に再録
 日本の行事(橋本峰雄・樋口謹一・山田稔・米山俊直との共同討議のまとめ)
 共同通信社配信 4月~9月
 入学式 4月
 夜店 7月
 お月見 9月
 芸術における「主体性」の崩壊 『哲学大系』6 人文書院 4月
 →『管理社会の影』(読売選書版)
 →『定本 管理社会の影』(日本ブリタニカ)
 →[著2]に「主体性の崩壊」として再録
 生卵とご先祖さま 「アサヒグラフ」朝日新聞社 7月3日
 →[著4]
 テレビ時評 「夫婦善哉」の皮肉な面白さ 「朝日新聞」朝日新聞社 7月23日
 大佛次郎『パリ燃ゆ』上巻(書評) 「東京新聞」東京新聞社 8月5日
 『中井正一全集』3(解説) 美術出版社 8月
 →『管理社会の影』(読売選書版)『定本 管理社会の影』(日本ブリタニカ)に
 「中井正一論」として再録
 複数の思想 「美術手帖」美術出版社 9月
 →『管理社会の影』(読売選書版)
 →『定本 管理社会の影』(日本ブリタニカ)
 『告白』分析への一つのアプローチ 「人文学報」20 京都大学人文科学研究所 10月
 機械芸術 清水幾太郎編『現代思想事典』講談社 11月

<1965年>昭和40年(40歳)

- 機械時代と伝統(1) 伝統破壊の実験都市 「産経新聞」産経新聞社 1月18日
 機械時代と伝統(2) 「産経新聞」産経新聞社 1月
 機械時代と伝統(3) 「産経新聞」産経新聞社 1月
 ジャン=ジャック・ルソー『告白』(上)(中)(下)(代表:桑原武夫,
 共訳者:樋口謹一、山田稔)「岩波文庫」岩波書店 1965 3,7月、1966年 5月
 やせがまん 「アサヒグラフ」朝日新聞社 4月30日
 今村太平 「思想の科学」思想の科学社 5月
 無償語学の快 「図書」岩波書店 6月
 →『物くさ太郎の空想力』(冬樹社)及び同書角川文庫版に
 「語学趣味」として再録
 関西の教養派実力女性 村山リウ 「婦人公論」中央論社 6月
 田中英光『野狐』 「日本小説をよむ会会報」60日本小説をよむ会 7月

→ [著6]

- ジャン＝ジャック・ルソー『告白』（代表：桑原武夫、共訳者：樋口謹一、山田稔）
「岩波文庫」岩波書店 7月
現代日本思想大系18『自由主義』（編集・解説） 筑摩書房 8月
寺山修司『歌集 田園に死す』（書評） 「図書新聞」図書新聞社 11月 6日
生活この一年<上>（企画・談話） 「朝日新聞」朝日新聞社 12月 28日
生活この一年<下>（企画・談話） 「朝日新聞」朝日新聞社 12月 29日
日本的・日本人的と言うこと 未詳
「野火」（映画評）
「京都大学日本映画を見る会推薦 邦画ベストテン発表会」朝日新聞社 未詳

<1966年>昭和41年（41歳）

- ホワイトカラーと学歴 「朝日新聞」朝日新聞社 4月 12日
遊びふうの議論 「暮らしの設計」 夏
『暮らしをデザインする』（共著者：森南海子、河野友美、迎井夏樹）中外書房 8月
老いの坂 「文藝春秋」（株）文藝春秋 9月
→『物くさ太郎の空想力』（冬樹社）及び同書角川文庫版に
→堀秀彦編『日本の名随筆34 老』作品社（1985-8）
→ [著4]
恋愛の失墜 「展望」筑摩書房 11月
→『定本 管理社会の影』（日本ブリタニカ）
→ [著3]
啓蒙思想の研究—ヨーロッパ、特にフランスにおける— 「国語科通信」 12月

<1967年>昭和42年（42歳）

- 井伏鱒二『黒い雨』 「日本小説をよむ会会報」76 日本小説をよむ会 1月
→ [著6]
どうしようもない<恒常>が未来の価値となる 「京都新聞」京都新聞社 1月 3日
“ことわざ”の未来観 「energy」エッソ・スタンダード石油（株） 4月
→『管理社会の影』（読売選書版）に「未来恐怖」として再録
ヘンリー・ミラー『マルシの巨像』（書評） 「波」 4月
ドライブ風土記 能登半島 「週刊朝日」朝日新聞社 4月 28日
新書文化について 「朝日新聞」朝日新聞社 4月 27日
『京都会議』を聞いて 「朝日新聞」朝日新聞社 5月 11日
深沢七郎『楢山節考』（書評）
朝日ジャーナル編『ベストセラー物語』（下）朝日新聞社 6月
古いヨーロッパ①ブルターニュの人びと 「朝日新聞」朝日新聞社 11月 3日
古いヨーロッパ②ブルターニュの人びと 「朝日新聞」朝日新聞社 11月 4日
古いヨーロッパ③ブルターニュの人びと 「朝日新聞」朝日新聞社 11月 6日
古いヨーロッパ④ブルターニュの人びと 「朝日新聞」朝日新聞社 11月 7日
古いヨーロッパ⑤ブルターニュの人びと 「朝日新聞」朝日新聞社 11月 8日
→桑原武夫編『素顔のヨーロッパ』朝日新聞社（1968-11）
→桑原武夫編『素顔のヨーロッパ』「朝日選書」朝日新聞社（1978-11）
→『人生読本 外国語』河出書房新社（1978-11）
→世界知の旅8『恋と自由のセーヌ河』小学館（1986-6）
→ [著4] に「ブルターニュ」として再録
漂泊の情趣—竹久夢二（共著者：作田啓一）
桑原武夫編『文学理論の研究』岩波書店 12月
→ [著3] に「羞恥の芸術—竹久夢二」として再録
日本人と風呂 「ニッセイサークル」19 未詳

<1968年>昭和43年（43歳）

- ことば・亡命・羞恥 「展望」筑摩書房 1月
→『物くさ太郎の空想力』（冬樹社）及び同書角川文庫版に

- 誇り高い“極西”の民—ブルターニュ— 「アサヒグラフ」朝日新聞社 1月26日
- 『林不忘』 (解説) 『国民の文学』10 河出書房新社 1月
- 『柴田鍊三郎』 (解説) 『国民の文学』23 河出書房新社 3月
- 『山本周五郎』 (解説) 『国民の文学』11 河出書房新社 10月
- 『五味康祐』 (解説) 『国民の文学』22 河出書房新社 11月
- 『林不忘』 (解説) は「無宿者の面魂—丹下左膳」
- 『柴田鍊三郎』 (解説) は「“生まれついてしまった” 宿運の哲学—剣は知っていた・眠狂四郎無頼控」
- 『山本周五郎』 (解説) は「歴史と文学への挑戦—縦ノ木は残った—」
- 『五味康祐』 (解説) は「影の跳梁する“悪漢小説”—風流使者—」
- として『大衆文学の可能性』(河出書房新社)に再録
- 『五味康祐』(解説)のみ[著2]に「五味康祐『風流使者』」として再録
- ジュール・ミシュレ『フランス革命史』(代表:桑原武夫,共訳者:樋口謹一) 中央公論社 1月
- テレビ的体験 「展望」筑摩書房 2月
- 『管理社会の影』(読売選書版)
- 『定本 管理社会の影』(日本ブリタニカ)
- 『青春の記録7 愛あるところ』(編集・解説) 三一書房 3月
- 友情の条件 「energy」エッセ・スタンダード石油(株) 4月
- 『管理社会の影』(読売選書版)
- 『定本 管理社会の影』(日本ブリタニカ)
- 『人生読本 友だち』河出書房新社(1979-10)
- 遊びとは何か 「energy」エッセ・スタンダード石油(株) 7月
- 『管理社会の影』(読売選書版)
- (講演要旨) フランスのバリ中心主義の功罪について
- 「関西経済研究センター資料」関西経済研究センター 8月
- 栗原信一『フェノロサと明治文化』(書評)「朝日ジャーナル」朝日新聞社 9月22日
- 松本清張 文学入門 日本文学全集44『松本清張』河出書房新社 9月
- 桑原先生の一面 「新刊ニュース」157 東京出版販売(株) 11月
- あなたにその権利はない 桑原武夫編『素顔のヨーロッパ』朝日新聞社 11月
- 老人の流行 桑原武夫編『素顔のヨーロッパ』朝日新聞社 11月
- 裸の島 桑原武夫編『素顔のヨーロッパ』朝日新聞社 11月
- 一般化してはいけない 桑原武夫編『素顔のヨーロッパ』朝日新聞社 11月
- アルコール中毒 桑原武夫編『素顔のヨーロッパ』朝日新聞社 11月
- 腑におちないこと 桑原武夫編『素顔のヨーロッパ』朝日新聞社 11月
- 桑原武夫編『素顔のヨーロッパ』「朝日選書」朝日新聞社(1978-11)

<1969年>昭和44年(44歳)

- 益田勝美『火山列島の思想』(書評) 「展望」筑摩書房 1月
- 今井幸彦『日本の過疎地帯』(書評) 「展望」筑摩書房 2月
- 司馬遼太郎『故郷忘れがたく候』(書評) 「展望」筑摩書房 3月
- 日本における変化と恒常 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 1月20日
- 『管理社会の影』(読売選書版)
- 『定本 管理社会の影』(日本ブリタニカ)
- 『中里介山』 (解説) 『国民の文学』1 河出書房新社 1月
- 『直木三十五』 (解説) 『国民の文学』3 河出書房新社 4月
- 『水上勉』 (解説) 『国民の文学』25 河出書房新社 6月
- 『白井喬二』 (解説) 『国民の文学』2 河出書房新社 8月
- 『中山義秀』 (解説) 『国民の文学』13 河出書房新社 9月
- 『中里介山』 (解説) は「地上に描かれた巨大な“仏像”—大菩薩峠—」
- 『直木三十五』 (解説) は「ある思想小説—南国太平洋記—」
- 『水上勉』 (解説) は「“悲愁の湖”を持つ“宿命”—湖笛—」

『白井喬二』	(解説)は「土着の個性—新撰組—」		
『中山義秀』	(解説)は「女と男の夢の交錯—武辺往来—」		
	として『大衆文学の可能性』に再録		
私の読書術		『週刊朝日』朝日新聞社	3月21日
→『私の読書術』	かのう書房(1984-7)に「喋書術の挑戦」として再録		
司馬遼太郎『風神の門』	(解説)	「新潮文庫」新潮社	3月
京都人の見たいわゆる小京都		「旅」	4月
茶の間の本だな 小田実『現代史』	<上・下>(書評)	「母親教室 2-3歳」	6月
茶の間の本だな 大野力『価値ある執念』	(書評)	「母親教室 2-3歳」	6月
食卓のマナー		「食生活」	6月
みやげについて		「食生活」	7月
あそび・芸術の項	久野収・鶴見俊輔編『思想の科学事典』	勁草書房	6月
『野間宏集』(解説)		『日本文学全集』35 河出書房新社	7月
大衆文学の世界 お家騒動		「読売新聞」読売新聞大阪本社	秋
→『まげもの のぞき眼鏡』	(河出書房新社)及び同書旺文社文庫版		
トルストイ『復活 イワン・イリイチの死』	(解説)		
	『世界文学全集』46 河出書房新社		9月
数奇		「energy」23 エッツ・スタンダード石油(株)	10月
→『日本の美学』	(風涛社)及び同書ペリかん社版		
→『管理社会の影』	(読売選書版)		
→『定本 管理社会の影』	(日本ブリタニカ)		
→[著4]			
九鬼周造『いき』の構造		「energy」23 エッツ・スタンダード石油(株)	10月
→『日本の美学』	(風涛社)及び同書ペリかん社版		
中井正一 気の日本語としての変遷		「energy」23 エッツ・スタンダード石油(株)	10月
→『日本の美学』	(風涛社)及び同書ペリかん社版		
→[著4]に「中井正一 “気”の変遷」として再録			
マイホームの栄光と悲惨		「婦人公論」中央公論社	11月
→『管理社会の影』	(読売選書版)		
→『定本 管理社会の影』	(日本ブリタニカ)		
→[著2]			
生と反抗の思想家 大杉栄		『日本の名著』46 中央公論社	11月
<1970年>昭和45年(45歳)			
鬼太郎のこと		『水木しげる妖怪画集』朝日ソノラマ	1月
都市と女性		「婦人公論」中央公論社	2月
→『管理社会の影』	(読売選書版)		
→『定本 管理社会の影』	(日本ブリタニカ)		
野坂昭如『骨餓身峠死人葛』		「日本小説をよむ会会報」111 日本小説をよむ会	3月
スポーツ気分の成立と崩壊		「朝日ジャーナル」朝日新聞社	3月
→『管理社会の影』	(読売選書版)		
→『野球戯評』	(地球書館)及び講談社文庫版		
→『定本 管理社会の影』	(日本ブリタニカ)		
→[著2]			
青春 この逆説的なもの		「PTA会報」29 松蔭女子学院	3月
野球とアメリカ		「energy」25 エッツ・スタンダード石油(株)	4月
→『管理社会の影』	(読売選書版)		
日本語分割論		「グラフィケーション」富士ゼロックス(株)	4月
「乱調の美」の時代へ 人間関係律するモラル 美意識		「神戸新聞」神戸新聞社	4月24日
私生活		『世界の歴史』24 河出書房新社	4月
→『管理社会の影』	(読売選書版)		
→『定本 管理社会の影』	(日本ブリタニカ)		
(講演要旨) テレビと市民生活		「教育高知」34	5月

マンガ世代の意識と欲求	「YTVレポート」よみうりテレビ広報部	7月
二元論的日本イメージ論	川添登、加藤秀俊、菊竹清訓監修	
	現代デザイン講座3『デザインの創造』風土社	7月
→『管理社会の影』（読売選書版）『定本 管理社会の影』（日本ブリタニカ）に		
「二元論的日本空間」として再録		
あそびの本質とゆくえ	「エコノミスト」毎日新聞社	8月
遊びふうの議論	「暮しの設計」41	夏
太宰治『走れメロス』	「日本小説をよむ会会報」117	日本小説をよむ会 9月
日曜日はだれのもの	「婦人公論」中央公論社	9月
→『管理社会の影』（読売選書版）		
→『定本 管理社会の影』（日本ブリタニカ）		
しぐさの日本文化	「日本経済新聞」日本経済新聞社	10月～1971年12月
→『しぐさの日本文化』（筑摩書房）及び同書角川文庫版		
→[著3]		
マンガの世代	「婦人公論」中央公論社	11月
→『管理社会の影』（読売選書版）		
論壇時評 遠大な方向で公害追究を	「神戸新聞」神戸新聞社	12月23日
巨大な実験	「香里めざまし新聞」香里ヶ丘文化会議	12月25日

<1971年>昭和46年（46歳）

内なる自然	「近代経営」ダイヤモンド社	1月
先入見	「近代経営」ダイヤモンド社	2月
誤植	「近代経営」ダイヤモンド社	3月
櫻花	「近代経営」ダイヤモンド社	4月
訳者の仮面	「近代経営」ダイヤモンド社	5月
外国語と外のりもの	「近代経営」ダイヤモンド社	6月
あーしんど	「近代経営」ダイヤモンド社	7月
お待たせし	「近代経営」ダイヤモンド社	8月
情報型少年	「近代経営」ダイヤモンド社	9月
家を作る	「近代経営」ダイヤモンド社	10月
趣味	「近代経営」ダイヤモンド社	11月
	「近代経営」ダイヤモンド社	12月

→「家を作る」「情報型少年」「お待たせしました」「あーしんど」
「櫻花」「誤植」「内なる自然」のみ『物くさ太郎の空想力』に再録
→「外国語と外人ずれ」は「外人ずれ」として『物くさ太郎の空想力』
に再録

何のための紀行かー『旅愁』をめぐって

	「energy」28 エッツ・スタンダード（株）	1月
→論集・日本文化②『日本文化と世界』	「講談社現代新書」講談社（1972-6）	
二月号の総合雑誌 各誌とも無力・不作	「東京タイムズ」（共同通信社配信）	1月23日
『ホイジンガ選集』（推薦文）	（内容見本）河出書房新社	2月
ホイジンガからカイヨワへー遊びの理論の諸前提について		
	「人文学報」32 京都大学人文科学研究所	3月
→『管理社会の影』（読売選書版）		
→『遊びと人間』（講談社及び講談社文庫、講談社学術文庫版）に		
「訳者解説ホイジンガからカイヨワへ」として再録		
→「現代のエスプリ」至文堂（1981-8）		

数寄と恋愛

	「人文」2 京都大学人文科学研究所	3月
論壇時評 公害発言に具体論	「京都新聞」（共同通信社配信）	3月2日
論壇時評 嘆息スタイルの流行 大きく揺らぐ？総合雑誌		
	「京都新聞」（共同通信社配信）	3月28日
論壇時評 「わかってしまう」危険 公共性・定年などの言葉の再検討も		
	「神戸新聞」（共同通信社配信）	3月29日
論壇時評 明快、周到な大内論文	（共同通信社配信）	4月28日

- 論壇時評 全体的合理性と自由人の想像力 「京都新聞」(共同通信社配信) 6月 1日
 論壇時評 因果論からの解放 常識は社会の産物「京都新聞」(共同通信社配信)7月4日
 論壇時評 経験の再構成が必要に 固執したい“振り返る姿勢”
 「京都新聞」(共同通信社配信) 7月29日
 論壇時評 物足りぬ情報・洞察力 ドル危機 南北問題 地道な努力が必要
 「新潟日報」(共同通信社配信) 8月28日
 論壇時評 貧しさの中に光る「世界」 今こそ必要な政治的想像
 (共同通信社配信) 9月28日
 論壇時評 相手の立場で考察 本当の日本を知るために (共同通信社配信) 12月 2日
 考現学『今和次郎集1』刊行に寄せて
 「新潟新報」「山形新聞」(共同通信社配信) 3月 4日
 Pan-Urbanization and the Japanese People, “The Wheel Extended”,
 Vol.1, No.1, Toyota Motor Sales, Spring 1971
 管理社会の影 「展望」筑摩書房 4月
 →『管理社会の影』(読売選書版)
 →『定本 管理社会の影』(日本ブリタニカ)
 →[著2]
 寺井美奈子『ひとつの日本文化論』(書評) 共同通信社配信 4月 9日
 日本人と遊び 全感覚の自由な解放 「サンケイ新聞」産経新聞社 4月29日
 『大菩薩峠』の女たち 『中里介山全集』9 筑摩書房 4月
 複製芸術とは何か グラフィケーション別冊『複製時代の思想』
 (共著者:吉田光邦、安永寿延、山本明) 富士ゼロックス(株) 4月
 →『想像と創造—複製文化論』(研究社出版)
 →[著2]に「アウラの追放」として再録
 ロジェ・カイヨワ『遊びと人間』(翻訳) (共訳者:塚崎幹夫) 講談社 4月
 →「講談社文庫」講談社(1973-7)
 →「講談社学術文庫」講談社(1990-4)
 (講演要旨)戦後ベストセラーの考察 「出版研究」 5月22日
 性の変容—恋愛 『共同討議“性”』(共著者:松田道雄編、橋本峰雄、
 作田啓一) 筑摩書房 5月
 →『日本の名随筆・性』作品社(1983-11)
 『百科全書』について デイドロ、ダランベール編『百科全書』
 「岩波文庫」岩波書店 6月
 田中靖政『現代日本人の意識』(書評) 「週刊読売」読売新聞社 7月11日
 衣更 「energy」30 エッソ・スタンダード(株) 1月
 司馬遼太郎『歳月』(解説) 「講談社文庫」講談社 7月
 遊びと聖なるもの ロジェ・カイヨワ 「人文」3 京都大学人文科学研究所 8月
 『管理社会の影』(自著書評) 「新刊ニュース」東京出版販売(株) 9月
 手紙文 「文藝春秋」(株)文藝春秋 9月
 →『物くさ太郎の空想力』(冬樹社)及び同書角川文庫版
 遊びと教育 「日本経済新聞」日本経済新聞社 9月22日
 反文明的小説「八犬伝」(解説)
 『現代語訳 日本の古典23 南総里見八犬伝』河出書房新社 9月
 →『日本古典文庫19 南総里見八犬伝』小学館(1988-3)
 「論集・日本文化」エナジー別冊(共編著:梅棹忠夫)
 エッソ・スタンダード石油(株) 10月
 →論集・日本文化『①日本文化の構造』「講談社現代新書」講談社(1972-5)
 →論集・日本文化『②日本文化と世界』「講談社現代新書」講談社(1972-6)
 →論集・日本文化『③日本文化の表情』「講談社現代新書」講談社(1972-7)
 ヨーロッパ文化 『岩波講座 哲学13 文化』岩波書店 10月
 松本清張『黒い画集』(解説) 「新潮文庫」新潮社 10月
 怠惰の思想 「別冊経済評論」日本評論社 11月
 →『物くさ太郎の空想力』(冬樹社)及び同書角川文庫版
 →[著4]

水上勉『京の川』(解説)	「新潮文庫」新潮社	11月
『中里介山全集』17(解説)	筑摩書房	11月
ことしの論壇「深い底」に迫る分析	未詳	12月16日
バンザイ	「中日新聞」中日新聞社	未詳
身辺学のすすめ	「中日新聞」中日新聞社	未詳

<1972年>昭和47年(47歳)

現代社会の「遊び」	「中国新聞」中国新聞社	1月4日
転換期に生きる(1)「脱」意識(上)改革か脱か二者択一	「読売新聞」読売新聞大阪本社	1月4日
転換期に生きる(2)「脱」意識(下)自己からも脱け出す	「読売新聞」読売新聞大阪本社	1日5日
読書健康法	「読売新聞」読売新聞社	1月25日
絵にかかれた文鳥	「読売新聞」読売新聞社	2月13日
日本料理の“敗北”	「読売新聞」読売新聞社	2月23日
宗教と自然環境	「読売新聞」読売新聞社	3月18日
<廻遊論>の提起	「読売新聞」読売新聞社	3月29日
絵画とインテリア	「読売新聞」読売新聞社	4月9日
ニュー・シネマの魅力	「読売新聞」読売新聞社	4月25日
フラストレーター	「読売新聞」読売新聞社	5月7日
露地うら	「読売新聞」読売新聞社	5月28日
茶道と近代	「読売新聞」読売新聞社	6月29日
空間の狡猾さ	「読売新聞」読売新聞社	7月25日
怖い、こわい	「読売新聞」読売新聞社	8月3日
唯名論の世界	「読売新聞」読売新聞社	9月3日
序文の名人	「読売新聞」読売新聞社	10月21日
『中里介山全集』19(解説)	筑摩書房	1月
管理社会と性	「月刊百科」平凡社	2月
森万紀子『黄色い娼婦』	「日本小説をよむ会会報」133 日本小説をよむ会	3月
→ [著6]		
額田巖『結び』(書評)	未詳	4月10日
栗田勇『神々の愛でし都』(書評)	未詳	4月10日
有吉佐和子『恍惚の人』(書評)	未詳	7月3日
学制100年 教科書が語る世相① さくら	「サンケイ新聞」産経新聞社	4月11日
学制100年 教科書が語る世相② さくら	「サンケイ新聞」産経新聞社	4月18日
学制100年 教科書が語る世相③ 東京	「サンケイ新聞」産経新聞社	4月25日
学制100年 教科書が語る世相④ 外国の風景	「サンケイ新聞」産経新聞社	4月2日
学制100年 教科書が語る世相⑤ 外国の風景	「サンケイ新聞」産経新聞社	5月9日
学制100年 教科書が語る世相⑥ 国語の力	「サンケイ新聞」産経新聞社	5月16日
学制100年 教科書が語る世相⑦ 昔の村	「サンケイ新聞」産経新聞社	5月24日
学制100年 教科書が語る世相⑧ 村の変貌	「サンケイ新聞」産経新聞社	6月6日
学制100年 教科書が語る世相⑨ 汽車	「サンケイ新聞」産経新聞社	6月13日
学制100年 教科書が語る世相⑩ 鉄道の発展	「サンケイ新聞」産経新聞社	6月20日
学制100年 教科書が語る世相⑪ 汽車の行方	「サンケイ新聞」産経新聞社	6月27日
学制100年 教科書が語る世相⑫ 便り	「サンケイ新聞」産経新聞社	7月4日
学制100年 教科書が語る世相⑬ 電報から電話へ	「サンケイ新聞」産経新聞社	7月19日
学制100年 教科書が語る世相⑭ 家族	「サンケイ新聞」産経新聞社	8月1日
学制100年 教科書が語る世相⑮ 家族の変貌	「サンケイ新聞」産経新聞社	8月8日
学制100年 教科書が語る世相⑯ 女子の務め	「サンケイ新聞」産経新聞社	8月29日
学制100年 教科書が語る世相⑰ 儉約と貯蓄	「サンケイ新聞」産経新聞社	9月7日
学制100年 教科書が語る世相⑱ 洗たく	「サンケイ新聞」産経新聞社	9月13日
学制100年 教科書が語る世相⑲ 調理と食物	「サンケイ新聞」産経新聞社	9月19日
学制100年 教科書が語る世相⑳ 通気と照明	「サンケイ新聞」産経新聞社	9月27日

- 学制 100年 教科書が語る世相㉑ 衣服の移り変わり
「サンケイ新聞」産経新聞社 10月 3日
- 学制 100年 教科書が語る世相㉒ 計量化の過程
「サンケイ新聞」産経新聞社 10月 9日
- 学制 100年 教科書が語る世相㉓ 虫干し・餅つき・すすはき
「サンケイ新聞」産経新聞社 10月17日
- 学制 100年 教科書が語る世相㉔ 火事 「サンケイ新聞」産経新聞社 11月 7日
- 学制 100年 教科書が語る世相㉕ 人のにぎわい
「サンケイ新聞」産経新聞社 12月 1日
- 学制 100年 教科書が語る世相㉖ 人のにぎわい
「サンケイ新聞」産経新聞社 12月 5日
- 学制 100年 教科書が語る世相㉗ 比喩としての動物
「サンケイ新聞」産経新聞社 12月19日
- 学制 100年 教科書が語る世相㉘ 比喩としての動物
「サンケイ新聞」産経新聞社 12月26日
- [著5] に「教科書に見る生活風俗百年」として再録
再録にあたって衣食住など生活中心に再編集
- 思索の旅 少数民族の文化 (フランス) 「朝日ジャーナル」朝日新聞社 5月31日
- 遊びのこころ 子供と老人のなかにみる 「コミュニティ」京都信用金庫 6月
- ジョルジュ・フリードマン氏 「人文」5 京都大学人文科学研究所 6月
- 論壇時評 ベトナム、土地に焦点 未詳 6月27日
- 論壇時評 「改造論」への問題提起 不安定な外交的位置つく 未詳 8月
- 論壇時評 甘い日中間の分析 未詳 9月28日
- 法と「もしもし」 『末川博随筆全集』5月報 栗田出版会 6月
- わたしの城 「週刊朝日」朝日新聞社 9月15日
- 六十歳の民間大使 「さろん」さろん出版 9月
- 尾崎昭美『異土』(書評) 「諸君」(株)文藝春秋 10月
- 二十世紀の知性の炎—カイヨフのこと「ロジェ・カイヨフ講演会パンフレット」 11月
- 日本人の金銭観 お江戸風 大阪風 「サイギン」19 埼玉銀行 12月
- 情報化社会の一面 「郵政」郵政弘済会 12月
- 適役と適材 「PHP」PHP研究所 12月
- わたしにとってテレビとは 「さろん」さろん出版 12月
- 野間宏『真空地帯』(解説) 「新潮文庫」新潮社 12月
- 動詞人間学 (共著者：橋本峰雄、作田啓一、竹内成明)
共同通信社配信 1972年～1973年
- 『動詞人間学』(講談社現代新書版)
- 多田執筆分のみ [著4] に再録

<1973年>昭和48年(48歳)

- 遊びと日本人 「朝日ジャーナル」朝日新聞社 1月～ 6月
- 『遊びと日本人』(筑摩書房)及び同社「筑摩叢書」版、
並びに角川文庫版
- [著4]
- ロジェ・カイヨフ氏を迎えて 「ロジェ・カイヨフ講演集」NHK 1月
- 『しぐさの日本文化』(自著書評) 「読書グループ」 1月
- 学制 100年 教科書が語る世相㉙ 遊びと社会 「サンケイ新聞」産経新聞社 1月 9日
- 学制 100年 教科書が語る世相㉚ 遊びの変化と恒常
「サンケイ新聞」産経新聞社 1月23日
- 学制 100年 教科書が語る世相㉛ 夢は空へ 「サンケイ新聞」産経新聞社 2月 6日
- [著5] に「教科書に見る生活風俗百年」として再録
再録にあたって衣食住など生活中心に再編集
- 山本周五郎『天地静大』(解説) 「新潮文庫」新潮社 1月
- 畏れからの解放 「朝日ジャーナル」朝日新聞社 2月
- エドガー・モラン『オルレ안의うわさ』(書評) 未詳 4月 9日

男のつきあい	「こすもす」	6月
「世界」を消化する「日本」	日本人の100年17『戦後民主主義』	世界文化社 6月
四つの性	『講座おんな6そして、おんなは…』	筑摩書房 7月
密室のなかのテレビ論		「潮」潮出版社 9月
『昭和国民文学全集27 松本清張集』（解説）		筑摩書房 9月
→『昭和国民文学全集32 松本清張集』筑摩書房(1978- 1)		
(講演要旨) 日本人とコミュニケーション		「家庭科教育」 10月
風と流れと暮らしの中世と現代 膳(その1)	「朝日新聞」朝日新聞大阪本社	11月10日
ヴェルサイユ批判	「人文」9 京都大学人文科学研究所	12月
現代タレントロジーの試み		「潮」潮出版社 12月
松本清張『絢爛たる流離』（解説）	「中公文庫」中央公論社	12月
注意のシステム		「ぼざある」3 未詳
あそぶ	日本人の100年19『日本人の生活と意識』	世界文化社 未詳
人間環境と文化		未詳

< 1974年 > 昭和49年 (49歳)

一蓮托生	「中日新聞」中日新聞社	1月10日
世代	「中日新聞」中日新聞社	1月17日
昼飯	「中日新聞」中日新聞社	1月24日
愚問愚答	「中日新聞」中日新聞社	1月31日
愚問愚答	「中日新聞」中日新聞社	2月14日
愚問愚答	「中日新聞」中日新聞社	2月21日
愚問愚答	「中日新聞」中日新聞社	2月28日
けんかの社会学	「中日新聞」中日新聞社	3月 7日
地下の歴史	「中日新聞」中日新聞社	3月14日
地方色	「中日新聞」中日新聞社	3月28日
情にからむ	「中日新聞」中日新聞社	4月 4日
団地では	「中日新聞」中日新聞社	4月18日
パリの水	「中日新聞」中日新聞社	4月25日
ばんざい	「中日新聞」中日新聞社	5月 2日
玄関	「中日新聞」中日新聞社	5月 9日
はげます会	「中日新聞」中日新聞社	5月16日
イメージの魔力	「中日新聞」中日新聞社	5月30日
はじめて	「中日新聞」中日新聞社	6月13日
長居	「中日新聞」中日新聞社	6月27日
→『物くさ太郎の空想力』（冬樹社）及び同書角川文庫版		
→一蓮托生のみ〔著5〕に「カップル風俗」として再録		
棲む日々	『京都の記録6 冬住まう』時事通信社	2月
The Glory and Misery of "My Home", "THE JAPAN INTERPRETER",		
Vol.9, No.1, Japan Center for International Exchange, Spring 1974		
→"Authority and Individual in Japan", UNIV. of Tokyo Press, 1978		
風と流れと暮らしの中世と現代 旅(その2)	「朝日新聞」朝日新聞大阪本社	未詳
風と流れと暮らしの中世と現代 色(その3)	「朝日新聞」朝日新聞大阪本社	3月16日
遊びとしてのデザイン	「グラフィケーション」富士ゼロックス(株)	4月
歌にみる日本の美学 風について		
「文藝春秋デラックス 万葉から啄木まで 日本名歌の旅」(株)文藝春秋		5月
屋根と庭の意識調査 住環境意識調査研究会編	「近畿圏住民の“住みよさ”意識」	5月
松本清張『中央流砂』（解説）	「中公文庫」中央公論社	5月
場末の気やすさと一流のにぎわいと	「スイート・ホーム・ライフ」新書館	6月
入浴の比較文化		
西山松之助編『日本生活文化史6 日本人的生活の完成』	月報4 河出書房新社	7月
→『物くさ太郎の空想力』（冬樹社）及び同書角川文庫版		
→〔著5〕		
点と線との自己主張	「サンケイ新聞」産経新聞社	7月 7日

(講演要旨) 日常生活 (講演日: 1973-5-1)

- 『日本人の美意識ゼミナール』 (共著者: 山崎正和、山田宗睦、田辺聖子、橋本峰雄) 朝日新聞社 7月
- 『ひとが活着ている間』 (共著者: 富岡多恵子) 草思社 7月
- サン・グラスの思想 「コスモス」 東急不動産 8月
→ [著5] に「サン・グラス」として再録
- 旅の変遷 林屋辰三郎他編 『風と流れと』 朝日新聞社 8月
- 学びの出発 「朝日新聞」 朝日新聞社 9月
- プルーダンの家庭論 河野健二編 『プルードン研究』 岩波書店 9月
→ [著1]
- (講演要旨) ゆとりと発想 「アドバタイジング」 (株) 電通 10月
- 『日本人の生活空間』 (共著者: 梅棹忠夫、上田篤、西川幸治) 朝日新聞社 10月
- 血と闇と夢と 「潮」 潮出版社 11月
→ 伊東光晴編 『列島改造と公害』 平凡社 (1975-9)
- アーノルド・トインビー 『図説・歴史の研究』 (翻訳)
(代表: 桑原武夫, 共訳者: 樋口謹一, 橋本峰雄) 学習研究社 11月
- 南太平洋への隠遁 「energy」 39 エッソ・スタンダード石油 (株) 12月
- ヨーロッパと日本の金銭感覚 「ポトラッチ型」と「クリスマス・プレゼント型」
「Lounge」 12月
- 頭高手低 未詳

<1975年>昭和50年 (50歳)

- 京都人の意識と気質の変遷 「京都新聞」 京都新聞社 2月10月
- (講演要旨) 日本文化について 「人文学論集」 市邨学園短期大学人文科学研究会 3月
- (講演要旨) 日本人のものの見方について 「ひまわり」 5 近畿ツーリスト 3月
- 風呂とプール 「水と人間」 2 L B I (琵琶湖問題研究機構) 3月
- まっとう 「日本経済新聞」 日本経済新聞社 3月 3日
- 農民的「家」から職人的「家」へ 「春秋あさひ」 45 旭化成工業 (株) 4月
- 柳田国男と身辺の学 「現代思想」 青土社 4月
- 都市のしぐさ 「PPP」 PPP協会 7月
- 英語下手でよかった 「読売新聞」 読売新聞大阪本社 8月23日
→ 『物くさ太郎の空想力』 (冬樹社) 及び同書角川文庫版に
「下手な英語」として再録
- 遊びと教育 迫られる内への転換 「日本経済新聞」 日本経済新聞社 9月22日
- 鶴見俊輔著作集4 『芸術』 (解説) 筑摩書房 9月
→ [著6] に「鶴見俊輔解説」として再録
- 『三遊亭円朝全集』 6 (解説) 角川書店 10月
→ [著6] に「円朝とモーパッサン」として再録
- (講演要旨) 宇野浩二 夢と現実の間 (講演日: 1994-10-15)
『続近代文学 作家とその世界2』 (共著者: 桑原武夫、梅原猛、飛鳥井雅道、作田啓一) 朝日新聞社 10月
- ボードレール 『悪の花』 芸術詩篇註釈
(共著者: 杉本秀太郎、大槻鉄男、松本勤、西川長夫、竹内成明、松田清)
「人文学報」 40 京都大学人文科学研究所 12月
- Japan Communication Mores in Place Where People Gather, "Comparative Popular Culture Research Seminar on Traditional Media", 1975
- Yakuza Fiction, "Essays in Comparative Popular Culture", Edited by H.kato Honolulu East-West Cester, 1975

<1976年>昭和51年 (51歳)

- 五右衛門ぶろの湯はなぜやわらかいか 「スイート・ホーム・ライフ」 新書館 1月
- 箸とフォークのあいだ 「スイート・ホーム・ライフ」 新書館 2月
- ヨーロッパ人の長旅とナプキン 「スイート・ホーム・ライフ」 新書館 3月
- 時計の針は太陽の影なのです 「スイート・ホーム・ライフ」 新書館 4月

個性的なふるしきを愛用しよう	「スイート・ホーム・ライフ」新書館	5月
「むだ」を除くと広がるか	「スイート・ホーム・ライフ」新書館	7月
フランスの家庭には二種類の食器しかなかった	「スイート・ホーム・ライフ」新書館	8月
テレビ電話 賛成ですか 反対ですか	「スイート・ホーム・ライフ」新書館	9月
のれんをくぐればその先は…	「スイート・ホーム・ライフ」新書館	10月
→「個性的なふるしきを愛用しよう」のみ〔著5〕に「ふるしき」として再録		
遙かなる南アメリカ 未知の大陸	「サンケイ新聞」産経新聞大阪本社	1月 5日
遙かなる南アメリカ お辞儀	「サンケイ新聞」産経新聞大阪本社	1月 6日
遙かなる南アメリカ 立ち話	「サンケイ新聞」産経新聞大阪本社	1月 7日
遙かなる南アメリカ 行きかう船	「サンケイ新聞」産経新聞大阪本社	1月 8日
遙かなる南アメリカ 物売りの声	「サンケイ新聞」産経新聞大阪本社	1月10日
遙かなる南アメリカ 街の灯	「サンケイ新聞」産経新聞大阪本社	1月12日
遙かなる南アメリカ 安全	「サンケイ新聞」産経新聞大阪本社	1月21日
遙かなる南アメリカ 危ない	「サンケイ新聞」産経新聞大阪本社	1月22日
遙かなる南アメリカ 高山病	「サンケイ新聞」産経新聞大阪本社	1月23日
遙かなる南アメリカ 山の手	「サンケイ新聞」産経新聞大阪本社	1月24日
遙かなる南アメリカ ねんねこと帽子	「サンケイ新聞」産経新聞大阪本社	1月26日
遙かなる南アメリカ はにかみ	「サンケイ新聞」産経新聞大阪本社	1月27日
遙かなる南アメリカ 電話ボックス	「サンケイ新聞」産経新聞大阪本社	2月 4日
遙かなる南アメリカ 街角の警官	「サンケイ新聞」産経新聞大阪本社	2月 5日
遙かなる南アメリカ パウリスタの標柱	「サンケイ新聞」産経新聞大阪本社	2月 6日
遙かなる南アメリカ 柔道	「サンケイ新聞」産経新聞大阪本社	2月 9日
遙かなる南アメリカ 四季の感覚	「サンケイ新聞」産経新聞大阪本社	2月10日
遙かなる南アメリカ 魔よけ	「サンケイ新聞」産経新聞大阪本社	2月12日
遙かなる南アメリカ 私たちの「リオ」	「サンケイ新聞」産経新聞大阪本社	2月26日
遙かなる南アメリカ お手伝いさん	「サンケイ新聞」産経新聞大阪本社	2月27日
遙かなる南アメリカ そこを何とか	「サンケイ新聞」産経新聞大阪本社	2月28日
遙かなる南アメリカ カリオカの弁当箱	「サンケイ新聞」産経新聞大阪本社	3月 3日
遙かなる南アメリカ あなたの好きな都市	「サンケイ新聞」産経新聞大阪本社	3月 4日
遙かなる南アメリカ 24時間文明	「サンケイ新聞」産経新聞大阪本社	3月 5日
遙かなる南アメリカ マルチ・カラー	「サンケイ新聞」産経新聞大阪本社	3月15日
→「南アメリカ紀行」に再録、一部は下記のように改題		
「未知の大陸」	→ 「プロローグ」	
「物売りの声」	→ 「物売り」	
「危ない」	→ 「穴ぼこ」	
「高山病」	→ 「高地病」	
「電話ボックス」	→ 「ぶらぶら」	
「街角の警官」	→ 「警官」	
「パウリスタの標柱」	→ 「標柱」	
「四季の感覚」	→ 「四季」	
「そこを何とか」	→ 「運転手」	
「カリオカの弁当箱」	→ 「弁当箱」	
「あなたの好きな都市」	→ 「好きな都市」	
「24時間文明」	→ 「昼寝」	
→「ねんねこと帽子」「はにかみ」のみ〔著4〕に「クスコ」として再録		
現代のとりあわせ	「いけ花龍生」龍生華道会	2月
“パンの分配”の倫理	「潮」潮出版社	3月
→〔著3〕に「食の攻撃性」として再録		
宇野浩二『思い川』	「日本小説をよむ会会報」177 日本小説をよむ会	3月
→〔著6〕		
自己と自分	「ホームティーチング」旺文社	3月
旅行嫌いの旅行論	「人文」14 京都大学人文科学研究所	3月

- (講演要旨) 京都文化の未来像 「京都新聞」 京都新聞社 3月30日
『八犬伝』と『三銃士』 林屋辰三郎編 『化政文化の研究』 岩波書店 3月
→ [著1]
富岡多恵子『丘に向ってひとは並ぶ』 (解説) 「中公文庫」 中央公論社 4月
ノスタルジア考 (筆名: ノンノスタル爺さん) 「月刊百科」 平凡社 6月
→ 『物くさ太郎の空想力』 (冬樹社) 及び同書角川文庫版
→ [著5]
ロッキード・スキャンダル 日本語で呼ばぬ理由? 「読売新聞」 読売新聞大阪本社 6月30日
標準志向への反省 「読売新聞」 読売新聞大阪本社 8月28日
平等派対しつけ派 「読売新聞」 読売新聞大阪本社 9月29日
たよりない 日本人の食嗜好 「読売新聞」 読売新聞大阪本社 11月27日
都市の保存こそ革新 「読売新聞」 読売新聞大阪本社 12月25日
京都・善峰寺の遊竜の松 司馬遼太郎『樹霊』 人文書院 6月
桑原武夫『第二芸術』 (解説) 「講談社学術文庫」 講談社 6月
→ 梅棹忠夫、司馬遼太郎編『桑原武夫伝習録』 潮出版社 (1981-4)
に「いさぎよいまでの透明さ」として再録
歯のある咄 「月刊百科」 平凡社 7月
→ 『物くさ太郎の空想力』 (冬樹社) 及び同書角川文庫版
貧乏ぶるい 「CARTOPIA」 48 富士重工 (株) 7月
かんじん要 「CARTOPIA」 49 富士重工 (株) 8月
ほぼ同じ 「CARTOPIA」 50 富士重工 (株) 9月
待て 「CARTOPIA」 51 富士重工 (株) 10月
居眠り 「CARTOPIA」 52 富士重工 (株) 11月
ことば尻 「CARTOPIA」 53 富士重工 (株) 12月
→ 「ほぼ同じ」「待て」「居眠り」のみ『物くさ太郎の空想力』 (冬樹社)
及び同書角川文庫版に再録
→ 「居眠り」のみ [著4] に再録
三酔人こんにやく問答 (筆名: 仲良しい町人) 「月刊百科」 平凡社 8月
井上靖『後白河院』 「日本小説をよむ会会報」 183 日本小説をよむ会 10月
自然な恥じらいこそ 「読売新聞」 読売新聞大阪本社 11月21日
現代の家族 「しにあらいふ」 (財) 年金保養協会 12月
街頭風景 「季刊 マネージメントジャーナル」 11 12月
ゆとりあるところに・・・ 「POECA」 (株) 和広 12月
早起きは三文の得 池田弥三郎・梅棹忠夫監修『百人百話』 PHP研究所 12月
→ 『物くさ太郎の空想力』 (冬樹社) 及び同書角川文庫版に
「早起きは」として再録

<1977年>昭和52年 (52歳)

- 性教育の本質を“健”に語る 「健」日本学校保健研修社 1月
正月雑感 「カードこんばす」 98 コミunique・カードこんばす編集室 1月
→ 『物くさ太郎の空想力』 (冬樹社) 及び同書角川文庫版
おかあさまへのながみ 「Reed」リード図書出版 1月
政・経の根底へ光投入 「読売新聞」 読売新聞大阪本社 1月29日
「中流」幻想と庶民分析 「読売新聞」 読売新聞大阪本社 3月29日
<死>へどう構えるか 「読売新聞」 読売新聞大阪本社 4月28日
劇画の世界 「読売新聞」 読売新聞大阪本社 5月28日
ブルターニュ農民の生活と意識
京都大学ヨーロッパ学術調査報告「ヨーロッパの社会と文化」 3月
→ [著1] に「ブルターニュ半島」として再録
近代文学と生活空間 (NHK教育テレビ放映: 1977-8-26, 9-2, 9-9, 9-16)
NHK大学講座「文学と社会 読者・メディア・生活空間」 日本放送出版協会 4月
京都・日ノ薬師界限 「サンケイ新聞」 産経新聞社 6月
→ サンケイ新聞社編『一枚の地図』 PHP研究所 (1978-3)

- 『暮らしを考える』(共著者：橋本峰雄) ぎょうせい 8月
 ジーンズの社会学 「あすあすあす」巧羊書林 9月
 西サモアへの旅 「読売新聞」読売新聞社 9月13日
 → [著4] に「西サモア」として再録
 吉田光邦 『京のちゃあと』(書評) 「人文」17 京都大学人文科学研究所 10月
 日本語の作法 「潮」潮出版社 10月、11月
 → The Etiquette of the Japanese Language(1), “Japan Echo”,
 Volume IV, Number 4, Japan Echo Inc. 1977
 → The Etiquette of the Japanese Language(2), “Japan Echo”,
 Volume V, Number 1, Japan Echo Inc. 1978
 → 『日本語の作法』(潮出版社) 及び同書角川文庫版、創拓社版
 → [著6]
 辞書を頼りに 「ぶっくれっと」三省堂 10月
 思い出の仏和辞書 「ぶっくれっと」三省堂 12月
 → 『辞書のはなし』三省堂 (1993- 5)
 → [著6] に「仏和辞書のはなし」として再録
 貧しさと豊かさ…西サモアに旅して 「サンケイ新聞」産経新聞社 10月 3日
 (はがき報告) 風呂 『現代風俗’77』現代風俗研究会 10月
 → 鶴見俊輔編『現代風俗通信’77〜’86』学陽書房 (1987-6)
 → [著5] に「はがき通信」として再録
 (講演要旨) 地域と文化 「地域開発」 11月
 乗合馬車の思想 河野健二編『フランスブルジョワ社会の成立』岩波書店 11月
 → [著1]
 山崎正和 『おんりい・いえずたでい’60s』(書評) 「週刊文春」(株)文藝春秋 12月15日
 身辺の学 日本生活学会編『生活学』2 ドメス出版 未詳

<1978年>昭和53年(53歳)

- ことわざの風景 「本」講談社 1月～1979年 4月
 → 『ことわざの風景』(講談社) 及び同書講談社文庫版、創拓社版
 → 「夜鷹の宵だくみ」のみ「LDノート」(1980-12) に再録
 → [著3]
 三つの会 「短歌研究」短歌研究社 1月
 美-“聖”と“俗”の中間に 「読売新聞」読売新聞社 1月14日
 土俗からの生活美学-花森安治さん逝く 「朝日新聞」朝日新聞社 1月14日
 編集苦労話 「ぶっくれっと」三省堂 2月
 → 『辞書のはなし』三省堂 (1993- 5)
 → [著6] に「仏和辞書のはなし」として再録
 『クラウン仏和辞典』
 (共編者：大槻鉄男・佐々木康之・西川長夫・山田稔) 三省堂 2月
 → 毎日出版文化賞受賞 (1978-11)
 内心忸怩 『花田清輝全集』7 月報6 講談社 2月
 (講演要旨) 日本語と日本文化 「教育時報」岡山県教育委員会 3月
 富岡多恵子の部屋 『現代文学大系』97月報 筑摩書房 3月
 → 『物くさ太郎の空想力』(冬樹社) 及び同書角川文庫版
 大淵さんの死を聞いて 「思想の科学研究会会報」89 思想の科学研究会 4月
 → [著6]
 物くさ太郎の空想力 『物くさ太郎の空想力』冬樹社 5月
 → 「角川文庫」角川書店
 『「いき」の構造』を読む(共著者：安田武)
 「energy」エッセイ・スタンダード石油(株) 6月
 → 『「いき」の構造』を読む(「朝日選書」朝日新聞社)
 遊びと人間 「高分子」高分子学会 8月
 旅の甘さについて 「あすあすあす」巧羊書林 8月
 日本の大衆 「京都新聞」京都新聞社 8月 1日

- (講演要旨) 音から手探りする社会 (講演日: 1977-4-11~4-13)
- 『歌は世につれ』 講談社 8月
- 話すことと書くこと 『日本語と日本文化』 (共著者: 作田啓一、谷泰、
外山滋比古、金田一春彦、佐竹昭広、陳舜臣) 朝日新聞社 8月
- 生活の質を見直おす
『戦後思想の潮流』 (共編者: 伊東光晴、城塚登、判沢弘、
山田宗睦、神島二郎、高島通敏) 新評論 9月
- (講演要旨) 風俗の潮の流れ 「夏期広告電通大学講義録」 (株) 電通 10月
- ネス湖のほとりて 「毎日新聞」 毎日新聞大阪本社 10月 6日
- 地方都市 「毎日新聞」 毎日新聞大阪本社 10月 13日
- 虫食い 「毎日新聞」 毎日新聞大阪本社 10月 27日
- 姿勢 「毎日新聞」 毎日新聞大阪本社 11月 4日
- 学の爆発 「毎日新聞」 毎日新聞大阪本社 11月 10日
- ろう人形館 「毎日新聞」 毎日新聞大阪本社 11月 18日
- 花嫁の父 「毎日新聞」 毎日新聞大阪本社 11月 25日
- 書店 「毎日新聞」 毎日新聞大阪本社 12月 2日
- 情報病院 「毎日新聞」 毎日新聞大阪本社 12月 9日
- 地域主義 「毎日新聞」 毎日新聞大阪本社 12月 16日
- 「ろう人形館」のみ [著5] に再録
- (はがき報告) かたみ 『現代風俗'78』 現代風俗研究会 11月
- 鶴見俊輔編 『現代風俗通信'77~'86』 学陽書房 (1987-6)
- [著5] に「はがき通信」として再録
- “ヤボ天教授”と現代ファッション (談話) 「夕刊フジ」産経新聞社 11月 14日
- 風の謎 『日本の風』 角川書店 11月
- [著4]
- 『風俗学』 「ちくまぶっくす11」 筑摩書房 12月
- [著5]
- 情報量と体臭量 「郵政」 郵政弘済会 未詳
- 『物くさ太郎の空想力』 (冬樹社) 及び同書角川文庫版
- 風呂敷 未詳
- 『物くさ太郎の空想力』 (冬樹社) 及び同書角川文庫版
- 近親相愛 「現代の眼」 現代評論社 未詳
- 『物くさ太郎の空想力』 (冬樹社) 及び同書角川文庫版
- うしろ姿 「展望」 筑摩書房 未詳
- 『物くさ太郎の空想力』 (冬樹社) 及び同書角川文庫版
- <1979年> 昭和54年 (54歳)
- お正月の小物 「コンセンサス」 日本電気 (株) 1月
- 「まえがき」と「あとがき」を読む方法 「潮」 潮出版社 1月
- 経験としての橋 「季刊大林」 3 (株) 大林組 2月
- (講演要旨) CM放送と大衆 (講演日: 1978-10-3~5)
- 「放送文化シンポジウム報告書」 (財) 放送文化基金 2月
- (講演要旨) 身辺の日本文化 (講演日: 1977-2-19)
- 「文化講演会記録集」 横浜教育委員会 3月
- 若い日本学者たち 「人文」 19 京都大学人文科学研究所 3月
- ウイスキー風土記 (アイルランド・スコットランド・アメリカ)
- 『ウイスキー博物館』 講談社 5月
- 風俗としての写真 美醜の境をまぎらかすカメラ 「アサヒカメラ」 朝日新聞社 7月
- 会者定離 「あすあすあす」 巧羊書林 8月
- 『ことわざの風景』 (講談社) 及び同書講談社文庫版、創拓社版
- [著3]
- マンガの主人公 共同通信社配信 9月~11月
- 寺島町奇譚

- チンコロ姐ちゃん
 オバケのQ太郎
 天才バカボン
 ハレンチ学園
 アシユラ
 がんばれ!!タブチくん!!
 AKIRA
 →『昭和マンガのヒーローたち』（講談社）
 →多田執筆分「チンコロ姐ちゃん」「オバケのQ太郎」「天才バカボン」
 「ハレンチ学園」「アシユラ」「がんばれ!!タブチくん!!」「AKIRA」
 のみ〔著2〕に再録
- 地域主義 「酒」酒之友社 9月
 インベーダー風俗考 彼女、インベせえへん? (奥野卓司と共著) 「Voice」PHP研究所 9月
 うしなわれた旅 (一) 『日本名所風俗図絵』（月報「圖會」）角川書店 9月
 うしなわれた旅 (二) 『日本名所風俗図絵』（月報「圖會」）角川書店 11月
 九鬼周造『「いき」の構造』解説 「岩波文庫」岩波書店 9月
 →『定本 管理社会の影』（日本ブリタニカ）に「九鬼周造解説」として再録
 →〔著4〕に「九鬼周造の美学」として再録
- 加藤秀俊『日常性の社会学』解説 「角川文庫」角川書店 10月
 (はがき報告) 朝食 『現代風俗'79』現代風俗研究会 11月
 →鶴見俊輔編『現代風俗通信'77~'86』学陽書房 (1987-6)
 →〔著5〕に「はがき通信」として再録
- バーナード・ルドフスキー『みっともない^{からだ}人体』（まえがき・加藤秀俊と共訳）
 鹿島出版会 11月
 →〔著5〕に「まえがき」のみ『みっともない^{からだ}人体』として再録
- 『現代 文章宝鑑』（共編者：小田切秀雄、谷沢永一） 柏書房 11月
 男のしぐさ 小物の文化論 「太陽」平凡社 12月
 いろはかるた・近世庶民の知恵 「国文学臨時増刊号一百人一首いろはかるた」学燈社 12月
 →『ことわざの風景』（講談社）及び同書講談社文庫版、創拓社版に
 「ことわざの知恵」の前半分として再録
 →〔著3〕に「ことわざの知恵」の前半分として再録
- 予言の時代 新しいけじめ求める心 「毎日新聞」毎日新聞社 12月18日
 けじめ 「読売新聞」読売新聞大阪本社 12月28日
 『自分子学』 朝日出版社 12月
 →『あまのじゃく日本風俗学』として再版「PHP文庫」（PHP研究所）
- Japan Communication Mores in Places Where People Gather, "ZINBUN",
 No.15, Kyoto Univ. Institute for Research in Humanity, 1979

<1980年>昭和55年 (55歳)

- 風物詩 正月 「生活文化」7 生活文化研究所 1月
 文明利器考 「かんぽ資金」27 簡保資金研究会 1月
 人の話をきく法 「高校クラスルーム」旺文社 1月
 明窓浄机 「素敵な女性」婦人生活社 1月
 文化的起爆力 「学校経営」第一法規出版 1月
 安らぐところ 思いさまごま府民55人アンケート 「京都新聞」京都新聞社 1月 1日
 ホームシック 「神戸新聞」神戸新聞社 1月 11日
 遊びの風俗 老人と雅 「北海道新聞」北海道新聞社 1月 16日
 日本語①「ブガジャ」とは 「読売新聞」読売新聞大阪本社 1月 30日
 日本語②若い女性の早口 「読売新聞」読売新聞大阪本社 1月 31日
 日本語③ニーズ 「読売新聞」読売新聞大阪本社 2月 1日
 日本語④ことばは怖い 「読売新聞」読売新聞大阪本社 2月 2日

日本語⑤寅さんのせりふ	「読売新聞」読売新聞大阪本社	2月 4日
日本語⑥ホントの話	「読売新聞」読売新聞大阪本社	2月 5日
日本語⑦察しがよい	「読売新聞」読売新聞大阪本社	2月 6日
日本語⑧雄弁は無用	「読売新聞」読売新聞大阪本社	2月 7日
日本語⑨すごく	「読売新聞」読売新聞大阪本社	2月 8日
日本語⑩「いちおう」とは	「読売新聞」読売新聞大阪本社	2月 9日
日本語⑪「…みたい」	「読売新聞」読売新聞大阪本社	2月12日
日本語⑫自分	「読売新聞」読売新聞大阪本社	2月13日
日本語⑬先生	「読売新聞」読売新聞大阪本社	2月14日
日本語⑭「貴様」の印象	「読売新聞」読売新聞大阪本社	2月15日
日本語⑮相づち	「読売新聞」読売新聞大阪本社	2月16日
日本語⑯話術	「読売新聞」読売新聞大阪本社	2月18日
日本語⑰現代の能弁	「読売新聞」読売新聞大阪本社	2月19日
日本語⑱幼児化	「読売新聞」読売新聞大阪本社	2月20日
→「日本語①～⑧、⑫、⑬、⑭～⑯、⑱」を〔著6〕に「ふだんのことば」として再録		
人間の時代が始まった! (談話) 「サントリークォーター」5 サントリー (株)		2月
日本人のしぐさと宗教心	「あけほの」聖パウロ女子修道会	2月
私の空想学校 風俗	「文藝春秋」(株)文藝春秋	3月
理想のからだ	「からだの時代」(株)ワコール	3月
京都の女—露伴に注して—	「思想の科学」思想の科学社	4月
読書メモ	「図書新聞」図書新聞社	4月12日
うしなわれた旅 (四)	『日本名所風俗図絵』(月報「圖會」) 角川書店	4月
中野収『現代人の情報行動』(帯の推薦文)	「NHKブックス」日本放送出版協会	4月
日本人と書齋論	『書齋の復活』ダイヤモンド社	4月
→『本棚の風景』(潮出版社)に「わたしの書齋論」として再録		
息吸い	「センター通信」国際交流基金	5月
嫌な音	「センター通信」国際交流基金	6月
マスクと手袋	「センター通信」国際交流基金	7月
日本人とニッポン人	「センター通信」国際交流基金	9月
古谷三敏『減点パパ』(帯の推薦文)	小学館	5月
ことばの柔らかかさ	「ことばと教育」三省堂	6月
コーヒーと枕	「人事院月報」大蔵省印刷局	6月
あそびと創造	「小原流插花」小原文化事業部	6月
身辺雑事の中の発見	「小六教育技術」小学館	6月
日本経済の伸長がもたらしたもの	「小六教育技術」小学館	9月
今西錦司・河盛好蔵監修『ラルース』(推薦文)	角川書店	6月
社会の変化—“まよい”が次の文化の動因となる	「青年心理」22 金子書房	7月
どこにライフワークがあるか	「あすあすあす」巧羊書林	7月
小説という仮面	「郵政」郵政弘済会	7月
(講演要旨) 身辺の日本文化	「学びの出發」三井教養セミナー	8月
“奇妙な旅”を読む	河野健二編『ヨーロッパ1930年代』岩波書店	8月
→〔著1〕に「ドリュ・ラ・ロシエルの彷徨」として再録		
みっともないファッション『着る—装いの生態学—』		
(共編著:小中陽太郎・寺井美奈子・西村雅之・深作光貞・水野和子) 平凡社		8月
→〔著5〕		
『食の文化』(共著者:中尾佐助、加藤秀俊、河野友美、鯖田豊之、東畑朝子		
宮本常一) 講談社		9月
ことわざの知恵 4 浮いたかひょうたん	「LDノート」総合労働研究所	10月
ことわざの知恵 5 鏡と相談	「LDノート」総合労働研究所	10月
ことわざの知恵 6 屁おい比丘尼	「LDノート」総合労働研究所	11月
ことわざの知恵 8 善は急げ	「LDノート」総合労働研究所	12月
(はがき報告) 寝床	『現代風俗'80』現代風俗研究会	10月
→鶴見俊輔編『現代風俗通信'77～'86』学陽書房(1987-6)		

→ [著5] に「はがき通信」として再録
 上手につかいこなせ (談話) 「サンケイ新聞」産経新聞大阪本社 11月 6日
 二つの文化のはざまに生きる日本人女性 「アサヒカメラ」朝日新聞社 12月
 Why the Japanese...? Japanese Smile, "Look Japan", Vol.26, No.297,
 The Look Japan, Ltd., December 10, 1980

<1981年>昭和56年(56歳)

- ことわざの知恵 9 義理張るより頬張れ 「LDノート」総合労働研究所 1月
 ことわざの知恵10 枕を高くして寝る 「LDノート」総合労働研究所 1月
 ことわざの知恵11 にくまれっ子世にはばかる 「LDノート」総合労働研究所 2月
 女としめなわ メナードニュース「白ゆり」メナード化粧品(株) 1月
 和歌森氏の生活文化への着眼について 『和歌森太郎著作集』6月報 弘文堂 1月
 逆説が好きなんや (談話) 「読売新聞」読売新聞社 2月26日
 大いなる文化遺産 「電通報」(株)電通 3月 9日
 角山栄『茶の世界史』川添登『東京の原風景』(書評)「小六教育技術」小学館 3月
 のんびり写真館 「まいたいむ」近鉄百貨店 4月
 秀吉昂揚の日々ー醍醐寺 『探訪日本の古寺8京都(3)洛中・洛南』小学館 4月
 『文章術』 潮出版社 4月
 →「潮文庫」潮出版社
 (講演要旨) なにが「なにわ」の文化か
 「おおさか・文化・ルネサンス」教育文化研究所 5月
 日本語のカタログ 童謡(共著者:谷川俊太郎) 「まいたうん」近鉄百貨店 5月
 日本語のカタログ 教科書(共著者:谷川俊太郎) 「まいたうん」近鉄百貨店 11月
 →『日本語グラフィティ』(河出書房新社)
 北京の春(その1) 「日本小説をよむ会会報」236 日本小説をよむ会 6月
 北京の春(その2) 「日本小説をよむ会会報」237 日本小説をよむ会 7月
 北京の春(その3) 「日本小説をよむ会会報」238 日本小説をよむ会 9月
 旅に病む 「人文」24 京都大学人文科学研究所 9月
 潤色のない話 「日本小説をよむ会会報」239 日本小説をよむ会 10月
 →「北京の春」(その1~3)と「潤色のない話」のみ[著4]に
 「旅に病む」として再録
 『関西-谷崎潤一郎にそって』(共著者:安田武)
 「energy」エツツ・スタンダード石油(株) 6月
 →『関西-谷崎潤一郎にそって』(共著者:安田武)筑摩書房(1981-11)
 九鬼氏旧邸訪問記 『九鬼周造全集』月報9 岩波書店 7月
 (講演要旨) 人間はなぜ、衣服を着るのか(講演日:1981-7-24)
 「織研新聞」織研新聞社 8月 8日
 花木正和『戦争と詩人 夭逝の宮野尾文平』(帯の推薦文) 蜘蛛出版社 8月
 もともと主義 「高校通信 東書[日本史世界史]」71 東京書籍 9月
 Why the Japanese...? The Photography Bug, "Look Japan", Vol.27,
 No.306, The Look Japan, Ltd., September 10, 1981
 物言う肌 「日本自身」秋季号 9月
 “私とラジオスコピー”『フランスを創った人々』(解説) 日仏技術 9月
 『身辺の日本文化』 講談社 9月
 →「講談社学術文庫」講談社
 ドイツの味覚「無作法」料理でプロスト! 「太陽」平凡社 10月
 (はがき報告) かばん 『現代風俗'81』現代風俗研究会 10月
 →鶴見俊輔編『現代風俗通信'77~'86』学陽書房(1987-6)
 →[著5]に「はがき通信」として再録
 (講演要旨) 世界文化と中京
 「第1回<なごや会議報告集>中京地域の国際化」
 日本アイ・ビー・エム(株) 11月
 日本語は世界一むずかしいか 「月刊国語教育」東京法令出版 11月
 住空間にみる日本人の美意識 『日本人の家』ミサワホーム総合研究所 11月

デズモンド・モリス『ジェスチャーしぐさの西洋文化』（翻訳）（共訳者：奥野卓司）
日本ブリタニカ 11月

→「角川選書」角川書店

日本庭園論の試み（その1）（談話） 「庭園文化」日本庭園文化協会 12月
酒と文化 「太陽」平凡社 12月

→ [著3] に「独酌と乾杯」として再録

Sacred and Profane: The Division of a Japanese Space, "ZINBUN",
Kyoto Univ. Institute for Research in Humanity, No.17, 1981

<1982年>昭和57年（57歳）

日本語のカタログ 手紙（共著者：谷川俊太郎） 「まいたうん」近鉄百貨店 1月
日本語のカタログ 標語（共著者：谷川俊太郎） 「まいたうん」近鉄百貨店 3月
日本語のカタログ 漫才（共著者：谷川俊太郎） 「まいたうん」近鉄百貨店 5月
日本語のカタログ 刊行の辞（共著者：谷川俊太郎） 「まいたうん」近鉄百貨店 7月
日本語のカタログ 憲法（共著者：谷川俊太郎） 「まいたいむ」近鉄百貨店 9月
日本語のカタログ 広告キャッチフレーズ（共著者：谷川俊太郎）
「まいたいむ」近鉄百貨店 10月
日本語のカタログ 童話（共著者：谷川俊太郎） 「まいたいむ」近鉄百貨店 11月
日本語のカタログ 小学生の作文（共著者：谷川俊太郎）
「まいたいむ」近鉄百貨店 12月

→『日本語グラフィティ』（河出書房新社）

日本文化と主体性（1）美意識 上 「西日本新聞」西日本新聞社 1月 5日
日本文化と主体性（2）美意識 下 「西日本新聞」西日本新聞社 1月 6日
本多勝一『日本語の作文技術』（解説） 朝日新聞社 1月
Commentaire à Propos de Kurosawa Akira, "L'Asiathèque", Volume
4, Numéro 2, Centre d'études de L'asie de L'est Université de Montréal,
Le 26 février 1982

ヨーロッパの“僻地” プルターニュー 「人文」25 京都大学人文科学研究所 3月
日本庭園論の試み（その2）（談話） 「庭園文化」日本庭園文化協会 3月
ニッポン遠望（1）雪坂 「京都新聞」京都新聞社 4月 9日
ニッポン遠望（2）議会のスト 「京都新聞」京都新聞社 4月16日
ニッポン遠望（3）日本のイメージ 「京都新聞」京都新聞社 4月23日
ニッポン遠望（4）バイリンガル 「京都新聞」京都新聞社 4月30日
ニッポン遠望（5）ニカ国語（上） 「京都新聞」京都新聞社 5月 7日
ニッポン遠望（6）ニカ国語（下） 「京都新聞」京都新聞社 5月14日
ニッポン遠望（7）異国趣味 「京都新聞」京都新聞社 5月21日
ニッポン遠望（8）物見遊山 「京都新聞」京都新聞社 5月28日
ニッポン遠望（9）袖の長いカッターシャツ 「京都新聞」京都新聞社 6月 4日
ニッポン遠望（10）食べものと文化 「京都新聞」京都新聞社 6月11日
ニッポン遠望（11）武術の奇跡 「京都新聞」京都新聞社 6月18日
ニッポン遠望（12）日本の教訓 「京都新聞」京都新聞社 6月25日
四季つれづれ 端午の節句 「サンケイ新聞」産経新聞社 5月 1日
四季つれづれ 葵祭 「サンケイ新聞」産経新聞社 5月 8日
四季つれづれ 生垣 「サンケイ新聞」産経新聞社 5月15日
四季つれづれ ライラック祭 「サンケイ新聞」産経新聞社 5月22日
四季つれづれ 衣更え 「サンケイ新聞」産経新聞社 5月29日
四季つれづれ 梅雨 「サンケイ新聞」産経新聞社 6月 5日
四季つれづれ 山王祭 「サンケイ新聞」産経新聞社 6月12日
四季つれづれ 鵜飼 「サンケイ新聞」産経新聞社 6月19日
四季つれづれ みなづき 「サンケイ新聞」産経新聞社 6月26日
四季つれづれ 七夕 「サンケイ新聞」産経新聞社 7月 3日
四季つれづれ 祇園祭 「サンケイ新聞」産経新聞社 7月10日
四季つれづれ 天神祭 「サンケイ新聞」産経新聞社 7月17日
四季つれづれ 土用の丑 「サンケイ新聞」産経新聞社 7月24日

四季つれづれ	八朔	「サンケイ新聞」	産経新聞社	7月31日
四季つれづれ	阿波踊り	「サンケイ新聞」	産経新聞社	8月 7日
四季つれづれ	大文字	「サンケイ新聞」	産経新聞社	8月14日
四季つれづれ	地藏盆	「サンケイ新聞」	産経新聞社	8月21日
四季つれづれ	二百十日	「サンケイ新聞」	産経新聞社	8月28日
四季つれづれ	重陽	「サンケイ新聞」	産経新聞社	9月 4日
四季つれづれ	だんじり	「サンケイ新聞」	産経新聞社	9月11日
四季つれづれ	お彼岸	「サンケイ新聞」	産経新聞社	9月18日
四季つれづれ	中秋の名月	「サンケイ新聞」	産経新聞社	9月25日
四季つれづれ	かんなづき	「サンケイ新聞」	産経新聞社	10月 2日
四季つれづれ	かかし	「サンケイ新聞」	産経新聞社	10月 9日
四季つれづれ	誓文弘	「サンケイ新聞」	産経新聞社	10月16日
四季つれづれ	お火焚	「サンケイ新聞」	産経新聞社	10月23日
四季つれづれ	酉の市	「サンケイ新聞」	産経新聞社	10月30日
四季つれづれ	紅葉狩	「サンケイ新聞」	産経新聞社	11月 6日
四季つれづれ	七五三	「サンケイ新聞」	産経新聞社	11月13日
四季つれづれ	神農さん	「サンケイ新聞」	産経新聞社	11月20日
四季つれづれ	師走	「サンケイ新聞」	産経新聞社	11月27日
四季つれづれ	針供養	「サンケイ新聞」	産経新聞社	12月 4日
四季つれづれ	歳の市	「サンケイ新聞」	産経新聞社	12月11日
四季つれづれ	冬至	「サンケイ新聞」	産経新聞社	12月18日
四季つれづれ	クリスマス	「サンケイ新聞」	産経新聞社	12月25日

日本語の人間学

(共著者：芳賀綏、鈴木孝夫、W・A・グロータス、寿岳章子、野元菊雄)

	『日本語と日本人』	講談社	5月
(講演要旨) 環境生活 (講演日：1981-10-23)	「生活学会報」20	日本生活学会	6月
ケベック弁	「人文」26	京都大学人文科学研究所	9月
『ことばと響き』(多田道太郎対談集)		筑摩書房	9月
モントリオール散歩	「MITSUI 海外ニュース」	三井物産	10月
高橋千鶴子「妹の力」を秘めた童女		「太陽」平凡社	10月
(はがき報告) みやげ		『現代風俗'82』現代風俗研究会	10月
→鶴見俊輔編『現代風俗通信'77~'86』		学陽書房 (1987-6)	
→[著5]に「はがき通信」として再録			
ラーメンと戦後日本社会	東海林さだお編『ラーメン大好き!!』	冬樹社	10月
→東海林さだお編『ラーメン大好き!!』		「新潮文庫」新潮社 (1985-8)	
カーニバル観察記		「Voice」PHP研究所	11月
第二老の坂		「日本小説をよむ会会報」250	日本小説をよむ会 11月
→[著4]			
「回顧の人」「よむ会」の山田稔			
		「日本小説をよむ会会報」252	日本小説をよむ会 12月
→[著6]に「回顧の人—山田稔」として再録			
日本人の住思想		「インテリア新時代へ」大装(株)	未詳
祭のこころ		『美しい日本16 祭りのふるさと』	世界文化社 未詳

<1983年>昭和58年(58歳)

私の日本食回帰		「Sr.」第一勧業銀行	1月
ふるさと考 失郷者のノスタルジー		「朝日新聞」朝日新聞社	1月 1日
四季つれづれ	松の内	「サンケイ新聞」	産経新聞社 1月 8日
四季つれづれ	小正月	「サンケイ新聞」	産経新聞社 1月15日
四季つれづれ	初天神	「サンケイ新聞」	産経新聞社 1月22日
四季つれづれ	節分	「サンケイ新聞」	産経新聞社 1月29日
四季つれづれ	バレンタインデー	「サンケイ新聞」	産経新聞社 2月 5日
四季つれづれ	裸祭り	「サンケイ新聞」	産経新聞社 2月19日
四季つれづれ	雛祭り	「サンケイ新聞」	産経新聞社 2月26日

四季つれづれ	お水取り	「サンケイ新聞」	産経新聞社	3月 5日
四季つれづれ	十三詣	「サンケイ新聞」	産経新聞社	3月12日
四季つれづれ	お彼岸	「サンケイ新聞」	産経新聞社	3月19日
四季つれづれ	エイプリル・フール	「サンケイ新聞」	産経新聞社	3月26日
四季つれづれ	やすらい祭	「サンケイ新聞」	産経新聞社	4月 2日
四季つれづれ	通り抜け	「サンケイ新聞」	産経新聞社	4月 9日
四季つれづれ	春雨	「サンケイ新聞」	産経新聞社	4月16日
四季つれづれ	ゴールデン・ウィーク	「サンケイ新聞」	産経新聞社	4月23日
動く日本地図	第1回全国女子駅伝を見て	「京都新聞」	京都新聞社	1月29日
ことばの軽さ	当世文明談義		「婦人と暮らし」潮出版社	2月
小田仁二郎『触手』		「日本小説をよむ会会報」254	日本小説をよむ会	2月
→ [著6]				
日本語のカタログ	新聞 (共著者：谷川俊太郎)	「まいたいむ」	近鉄百貨店	2月
日本語のカタログ	軽薄体 (共著者：谷川俊太郎)	「まいたいむ」	近鉄百貨店	3月
日本語のカタログ	政治家の文章 (共著者：谷川俊太郎)		「まいたいむ」近鉄百貨店	4月
日本語のカタログ	ラブレター (共著者：谷川俊太郎)		「まいたいむ」近鉄百貨店	5月
日本語のカタログ	演説 (共著者：谷川俊太郎)	「まいたいむ」	近鉄百貨店	6月
日本語のカタログ	遺書 (共著者：谷川俊太郎)	「まいたいむ」	近鉄百貨店	7月
日本語のカタログ	ことば遊び (共著者：谷川俊太郎)		「まいたいむ」近鉄百貨店	9月
日本語のカタログ	翻訳 (共著者：谷川俊太郎)	「まいたいむ」	近鉄百貨店	11月
→ 『日本語グラフィティ』 (河出書房新社)				
大西洋のポートピアブル		「人文」27	京都大学人文科学研究所	3月
「語らい」の美学			「青年心理」金子書房	3月
西の文化の現在			「読売新聞」読売新聞大阪本社	3月26日
奥の感覚	『空間の原型』 (共著者：上田篤・中岡義介)		筑摩書房	3月
→ [著4]				
桑原先生の座談 (序文)		『人間史観 桑原武夫対談集』	潮出版社	3月
からだとしぐさ	かしわ手	健康・体力づくり事業財団		4月
からだとしぐさ	指紋	健康・体力づくり事業財団		5月
からだとしぐさ	背なか	健康・体力づくり事業財団		6月
からだとしぐさ	鼻	健康・体力づくり事業財団		7月
からだとしぐさ	腹	健康・体力づくり事業財団		8月
からだとしぐさ	ウエスト	健康・体力づくり事業財団		9月
からだとしぐさ	肩凝り	健康・体力づくり事業財団		10月
からだとしぐさ	足	健康・体力づくり事業財団		11月
からだとしぐさ	腕	健康・体力づくり事業財団		12月
かけぬけたわれらの6000日	昭和30～45年 (筆名：宇治太郎)	「太陽」	平凡社	5月
南博・社会心理研究所編『日本人の生活文化事典』(推薦文) (内容見本)			勤草書房	5月
未来の裏切り			『これからどうなる』岩波書店	5月
“テレ寝”の精神こそ遊びの極意			『四十から備えたいサラリーマンの熟年設計』講談社	6月
マリアおばさん		「読売新聞」	読売新聞大阪本社	7月 4日
氷棍のこと		「読売新聞」	読売新聞大阪本社	7月11日
鼻うた		「読売新聞」	読売新聞大阪本社	7月18日
ズボンのしみ		「読売新聞」	読売新聞大阪本社	7月25日
枕さがし		「読売新聞」	読売新聞大阪本社	8月 1日
タタミゼ		「読売新聞」	読売新聞大阪本社	8月 8日
万能の人		「読売新聞」	読売新聞大阪本社	8月15日
針灸東西		「読売新聞」	読売新聞大阪本社	8月22日
公衆便所		「読売新聞」	読売新聞大阪本社	8月29日
くたびれる		「読売新聞」	読売新聞大阪本社	9月 5日

- 交通整理 「読売新聞」読売新聞大阪本社 9月12日
 白いマスク 「読売新聞」読売新聞大阪本社 9月19日
 握手の風景 「読売新聞」読売新聞大阪本社 9月26日
 母の握手 「読売新聞」読売新聞大阪本社 10月 3日
 ビフテキもどき 「読売新聞」読売新聞大阪本社 10月17日
 自然食 「読売新聞」読売新聞大阪本社 10月24日
 イラッシー 「読売新聞」読売新聞大阪本社 10月30日
 ユーモア 「読売新聞」読売新聞大阪本社 11月 7日
 不愛想 「読売新聞」読売新聞大阪本社 11月14日
 まだ見ぬ島 「読売新聞」読売新聞大阪本社 11月21日
 名前 「読売新聞」読売新聞大阪本社 11月28日
 歓待 「読売新聞」読売新聞大阪本社 12月 5日
 盗難 「読売新聞」読売新聞大阪本社 12月12日
 風邪薬 「読売新聞」読売新聞大阪本社 12月19日
 さよなら 「読売新聞」読売新聞大阪本社 12月26日
 →「ビフテキもどき」「自然食」は[著3]に再録
 →「枕さがし」「マリアおばさん」「万能の人」「歓待」は「西サモア」として
 「針灸東西」とともに[著4]に再録
 →「ズボンのしみ」「白いマスク」は[著5]に再録
- 現代贈答考 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 7月 5日
 のれん 「朝日新聞」朝日新聞社 7月12日
 底ぬけに明るく人間が透明にただよ 「神戸っ子」(有)月刊神戸っ子 8月
 ジュリアス・ファスト『ボディー・ランゲージQ&A』(書評)
 「サンデー毎日」毎日新聞社 8月14日
- 野間宏『さいころの空』(解説) 福武書店 8月
 富岡多恵子『「英会話」私情』(解説) 「集英社文庫」集英社 9月
 (はがき報告) ペット 『現代風俗'83』現代風俗研究会 10月
 →鶴見俊輔編『現代風俗通信'77~'86』学陽書房(1987-6)
 →[著5]に「はがき通信」として再録
- 散歩から宇宙旅行まで 『現代風俗'83』リプロポート 10月
 →井上俊編『風俗の社会学』世界思想社(1987-1)
 (講演要旨) コミュニケーションと芸術的伝統
 「世界コミュニケーション会議記録書」 12月
- 糧ともしければ 「知恩」総本山知恩院 12月
 日本人と風呂 なぜ熱い湯好きなのか 「グッデイ」国鉄 12月
 →[著5]に「なぜ熱い湯好きなのか」として再録
- わが胃腸文明論 「中国新聞」中国新聞社 12月14日
 ファッションの行方 『ファッションこれからどうなる』文化出版局 12月
- <1984年>昭和59年(59歳)
- ストレスにかかったネズミ 「潮」潮出版社 1月
 →[著4]
- からだとしぐさ 口 健康・体力づくり事業財団 1月
 からだとしぐさ 口(つづき) 健康・体力づくり事業財団 2月
 からだとしぐさ 眉毛 健康・体力づくり事業財団 3月
 (講演要旨) 野球「神・司祭・悪魔」説
 「LETTER FROM MITSUI」三井広報委員会 3月
- 大阪ミナミには日本文化の活力がある 「三井グラフ」54 3月
 (講演要旨) 学びへの出発 「豊かな人生のために」福井県生涯学習センター 3月
 まんじゅう怖い 「IN POCKET」講談社 4月
 からだ百面相(1)~(79) 共同通信社配信 5月~1985年
 多田道太郎さんとよむ悪の華、 「朝日新聞」朝日新聞社 7月24日
 →『名作52 読む 見る 聴く』1 朝日新聞社(1986-1)に
 「多田道太郎さんと悪の花を読む」として再録

- [著4] に「ふたり酒」として再録
 →朝日新聞学芸部編『読み直す一冊』「朝日選書」朝日新聞社 (1994-8)
 に「悪の花」として再録
- 外山滋比古『メモと日記の方法』(解説) 「潮文庫」潮出版社 7月
 民族移動の考現学 (1) 「読売新聞」読売新聞大阪本社 8月14日
 民族移動の考現学 (2) 「読売新聞」読売新聞大阪本社 8月15日
 民族移動の考現学 (3) 「読売新聞」読売新聞大阪本社 8月16日
 民族移動の考現学 (4) 「読売新聞」読売新聞大阪本社 8月17日
 寝とぼける 「現代」講談社 9月
- [著4]
 (講演要旨) 日本人の生活文化 (講演日:1984-6) 「講演集」12 全国八幡宮連合総本部 10月
 (はがき報告) くすり 『現代風俗'84』現代風俗研究会 10月
 →鶴見俊輔編『現代風俗通信'77~'86』学陽書房 (1987-6)
 → [著5] に「はがき通信」として再録
- 李御寧『「縮み」志向の日本人』(解説) 「講談社文庫」講談社 10月
 大阪は「水の都」か 「楽叢書・水詣学」4 京都芸術短期大学 12月
 「声」の歴史と私の歳月 「声」6「朝日文庫」朝日新聞社 12月

<1985年>昭和60年(60歳)

- (講演要旨) 生活の中で変わるものと変わらないもの—日本人の生活文化とこれから—
 「生活文化」生活文化研究所 1月
 (講演要旨) 世界文化の中の日本 「話」(財)通信協会 1月
 情報ライブラリーを 「PHP」443 PHP研究所 4月
 富岡多恵子 ちいさな人形と巨大なおんなと 「思想の科学」63 思想の科学社 6月
 (講演要旨) 学びへの出発「第35回広島県公民館大会記録」広島公民館連合会 7月30日
 ころと行動・東西南北—笑う(監修) 「文藝春秋」(株)文藝春秋 8月
 病院の機能は、病気を直すだけじゃなく、心を癒やすことも大切だ(談話)
 「MM NEWS」(株)メディカルリスクマネジメント 8月
 (はがき報告) 写真 『現代風俗'85』現代風俗研究会 10月
 →鶴見俊輔編『現代風俗通信'77~'86』学陽書房 (1987-6)
 → [著5] に「はがき通信」として再録
- からだを決めるモノたちの博物館
 バーナード・ルドフスキー『さあ横になって食べよう』鹿島出版会 11月
 JAPANESE SENSIBILITY, AN "IMITATION" OF YANAGITA,
 "International Perspectives on Yanagita Kunio and Japanese Folklore
 Studies", Cornell Univ. East Asia Papers, Number37, 1985

<1986年>昭和61年(61歳)

- 東京文化は幻 味わい深い地方作りを 「読売新聞」読売新聞社 1月 3日
 暮らしと住まいの文化(談話)『新・暮らし文化の本』1 ナショナル住宅産業(株) 1月
 パッケージは儀礼からルック文明へ 「FACE」2フジシール 春
 変貌した日本人 「ぶっくれっと」61三省堂 3月
 都市のテクスチャ 「太陽」290 平凡社 3月
 近代日本の「家」と文学(1)(2)
 加藤秀俊「放送大学教材 家庭の本質」(財)放送大学教育振興会 3月
 ある時代映画のイロニー 『講座日本映画3 トーキーの時代』岩波書店 3月
 → [著2] に「人情紙風船」として再録
 『ボードレール “悪の花” 註釈』上・下巻(編著) 京大文学部人文科学研究科 3月
 → 『ボードレール “悪の花” 註釈』上・中・下巻(編著) 平凡社 (1988-3)
- 物忘れ 「三井シンポジア 7 トゥモロウ」三井広報委員会 4月
 食卓の危機 重症に陥った一家団らん 「年金と住宅」(財)年金住宅福祉協会 4月
 「現風研」の言いだしっべ 「婦人公論」中央公論社 4月
 悔恨としての現在と永遠 「世界思想」13 世界思想社 4月

東西贈物事情 (その1)	「チャイム銀座」5 K&Dコーポレーション (株)	4月
東西贈物事情 (その2)	「チャイム銀座」6 K&Dコーポレーション (株)	5月
→ [著5]		
他人史を読むこと『民衆の座』(書評)	「思想の科学」思想の科学社	5月
『それから』の香り	「日本小説をよむ会会報」290 日本小説をよむ会	5月
(講演要旨) 生活文化	「21世紀わかやま」7	5月
(講演要旨) 浮上する「からだの時代」	「ライフサイエンス」13 (社) 生命科学振興会	6月
わたしの心象風景 築山の中の生と死	「一心 TASUKE」一心出版	6月
→ [著4] に「兼六園の築山」として再録		
男の料理 鮎刺身 鮎ひも空揚	「週刊ポスト」小学館	6月27日
一粒の涙	「教育ジャーナル」学習研究社	7月
俗のなかの聖1 香りの奥にひそむもの	「あすあすあす」河出書房新社	7月
俗のなかの聖2 詩人と学者と	「あすあすあす」河出書房新社	8月
俗のなかの聖3 ひょんと死ぬる	「あすあすあす」河出書房新社	9月
俗のなかの聖4 戦死ヤアワレ	「あすあすあす」河出書房新社	10月
俗のなかの聖5 死者との出会い	「あすあすあす」河出書房新社	11月
俗のなかの聖6 死の姿勢	「あすあすあす」河出書房新社	12月
→ 「香りの奥にひそむもの」のみ玉井敬之監修、太田登、木股知史、萬田務編 『漱石作品論集成(6) それから』桜楓社(1991-9)に再録		
→ 「香りの奥にひそむもの」「戦死ヤアワレ」「死者との出会い」のみ [著6] に「香りの奥にひそむもの-夏目漱石」「戦死ヤアワレ-竹内浩三」 「死者との出会い-足立巻一」として再録		
(講演要旨) 文化・伝統の厚み	「読売新聞」読売新聞社	7月16日
“ヤング部屋” “ミドル部屋” “シルバー部屋” を使い分ける		
	「ダイヤモンド・ボックス」ダイヤモンド社	9月
『変貌する日本人』(共著者：鶴見俊輔)	三省堂	9月
体験的食文化論	「キッチン・ストリート」(株) モーリショップ	10月
(はがき報告) 鍵	『現代風俗'86』現代風俗研究会	10月
→ 鶴見俊輔編『現代風俗通信'77~'86』学陽書房(1987-6)		
→ [著5] に「はがき通信」として再録		
しぐさの日仏比較	『海外広告文庫1 フランス』(社) 海外広報協会	11月
(講演要旨) 地域風土と食の時代(講演日：1986-10-31)	「新潟の食学シンポジウム 新潟の風土と食文化」 新潟県・農業協同組合中央会・商工会議所連合会・新潟日報	12月
フランス的ということ	「太陽」平凡社	12月
The Destiny of Samurai Films, “EAST-WEST FILM JOURNAL”, Vol.1, No.1, December, 1986		
<1987年>昭和62年(62歳)		
逆説の抵抗-安田武氏へ-	「ちくま」筑摩書房	1月
現代流行論	多田道太郎編『流行の風俗学』世界思想社	1月
→ [著5] に「流行論」として再録		
耕治人『一条の光』(1967)	「日本小説をよむ会会報」298 日本小説をよむ会	2月
→ [著6]		
多芸多才 サルトルから“風俗学者”へ(談話)	「京都新聞」京都新聞社	2月10日
“よむ会”の過去・現在・未来 読む会別動隊う会と坂口安吾		
	「日本小説をよむ会会報」300 日本小説をよむ会	3月
日本人の美意識	熊倉功夫監修『茶道聚錦1 茶の文化』小学館	3月
→ [著4]		
瀬戸内晴美『諧調は偽りなり』(解説)	「文春文庫」(株) 文藝春秋	4月
(講演要旨) 国際社会における日本の教育と文化(講演日：1986-9-30)	「石川教育展望」20 (社) 石川県教育文化会議	5月
幻実の馬たち 小説家が出会った馬		

- 「DIGNITY FOR LADIES」日本中央競馬会 5月
 日本人の遊びごころ (談話) 「TRI-VIEW」Vol.1, No.3東急総合研究所 6月
 朝・昼・夜で三つの部屋を使い分ける (談話) 「ガスニュース」(株)コミニク出版 6月
 (講演要旨) フランス語と日本語 (講演日:1984-5-19)
 「神楽文庫」2 (財) 三高自昭会 6月
 思想としての水洗便所 鶴見俊輔編著『現代風俗通信'77~'86』学陽書房 6月
 → [著5]
 さよなら謡子 「道」近鉄アカデミアナンバ文章教室 7月
 →多田謡子『私の敵が見えてきた』編集工房ノア (1987-12)
 しぐさと社会空間 『室礼先人今人』ミサワホーム総合研究所 7月
 富士正晴野辺の送り 「群像」講談社 9月
 →立松和平編『水晶の死1980年代追悼文集』鈴木出版 (1991-2)
 → [著6]
 弔辞 (安田武氏へ) 「以悲留」6 安田武をイビル会 10月
 私はこう考える 「読売新聞」読売新聞社 10月23日
 桑原武夫先生の業績 「京都新聞」京都新聞社 10月29日
 (講演要旨) 無常の構造 「愛媛新聞」愛媛新聞社 11月10日
 (はがき報告) 鏡
 (社) 現代風俗研究会編『ノスタルジック・タウン 現代風俗'87』リプロポート12月

<1988年>昭和63年 (63歳)

- 自分ノート 古風な幸福 「毎日新聞」毎日新聞大阪本社 1月13日
 自分ノート からだのリズム 「毎日新聞」毎日新聞大阪本社 1月27日
 自分ノート めぐりあい 「毎日新聞」毎日新聞大阪本社 2月10日
 自分ノート 女の友情 「毎日新聞」毎日新聞大阪本社 2月24日
 自分ノート もうひとつの時間 「毎日新聞」毎日新聞大阪本社 3月 9日
 自分ノート 定年連絡船 「毎日新聞」毎日新聞大阪本社 3月23日
 自分ノート 不運と不幸 「毎日新聞」毎日新聞大阪本社 4月13日
 自分ノート 飲みもの 「毎日新聞」毎日新聞大阪本社 4月27日
 自分ノート 透かしブロック 「毎日新聞」毎日新聞大阪本社 5月11日
 自分ノート 文化摩擦 「毎日新聞」毎日新聞大阪本社 5月25日
 自分ノート 教授と大衆 「毎日新聞」毎日新聞大阪本社 6月 8日
 自分ノート 路地うら 「毎日新聞」毎日新聞大阪本社 6月22日
 建物の思い出 「人文」34 京都大学人文科学研究所 3月
 京都大学退官記念 (挨拶文)
 「多田道太郎主要著作目録・略年譜」退官記念の集い事務局 3月27日
 マジョリー・F・ヴァーガス『^{ノンバーバル}非言語コミュニケーション』(書評)
 「日本語」(株)アルク 3月
 『ボードレール 詩の冥府』(編著) 筑摩書房 3月
 →「序 詩の冥府」のみ [著1] に「詩の冥府」として再録
 日本学界の「光輝」消えて 「毎日新聞」毎日新聞大阪本社 4月11日
 友情で活性化 学問の道楽しく示す 「読売新聞」読売新聞大阪本社 4月11日
 桑原先生 「弔辞集」 4月
 花の下にて 「朝日新聞」朝日新聞社 4月25日
 ピエ・タ・テール 「朝日新聞」朝日新聞社 4月26日
 灰汁ぬき 「朝日新聞」朝日新聞社 4月27日
 犬と猫 「朝日新聞」朝日新聞社 4月28日
 →「ピエ・タ・テール」のみ [著5] に再録
 木股知史『<イメージ>の近代日本文学誌』(帯の推薦文) 双文社出版 5月
 桑原武夫先生と京都 「現代」講談社 6月
 追悼 桑原武夫先生 「潮」潮出版社 6月
 猛獣使い・桑原武夫の死 「文藝春秋」(株)文藝春秋 6月
 桑原先生と風景の精神 「中央公論」中央公論社 6月

- [著6]
 新句歌歳時記 「週刊新潮」新潮社(毎週連載) 6月9日～至現在
 → 『おひるね歳時記』(筑摩書房)として俳句のみを選択し再録
 → 「あとがき」のみ [著6] に「ひとり句会」として再録
 自然と芸術の和 「和-Great Harmony in Dynamism-」大和銀行 8月
 儀礼の始まり 「太陽」323 平凡社 8月
 → 日本文芸家協会編『ベスト・エッセイ集 誕生日のアップルパイ』
 (株)文藝春秋 (1989-8)
 → 「文春文庫」(株)文藝春秋 (1992-7)
 → [著4]
 読売新聞社婦人部編『日本人の人生案内』(書評) 「文藝春秋」(株)文藝春秋 10月
 日本文化デザイン会議88熊野(議長あいさつ)(パンフレット)日本文化デザイン会議10月
 ニッポン人の忘れもの すずき 一むら 「日本経済新聞」日本経済新聞社 10月 1日
 ニッポン人の忘れもの 異文化観察 「日本経済新聞」日本経済新聞社 10月 8日
 ニッポン人の忘れもの ぶらぶら歩き 「日本経済新聞」日本経済新聞社 10月 15日
 ニッポン人の忘れもの ヨイショの声 「日本経済新聞」日本経済新聞社 10月 22日
 ニッポン人の忘れもの 芝生の手入れ 「日本経済新聞」日本経済新聞社 10月 29日
 (講演要旨) ボードレールの詩を読む (講演日:1986-1-11)
 桑原武夫編『創造的市民講座II』小学館 10月
 → [著6] に「詩の楽しみ」として再録
 (はがき報告) カード
 (社)現代風俗研究会編『異文化老人の探検 現代風俗'88~'89』リプロポート 11月
 オルテガの挨拶論
 (社)現代風俗研究会編『異文化老人の探検 現代風俗'88~'89』リプロポート 11月
 加藤一雄『無名の南画家』(1941)「日本小説をよむ会会報」309 日本小説をよむ会12月
 → [著6]
 Osaka Popular Culture: a down-to-earth appraisal, "Modernization and
 Beyond: The Japanese Trajectory", [Edited by Gavan McCormack and
 Yoshio Sugimoto], Cambridge University Press, 1988

< 1989年 > 平成元年 (64歳)

- からだの遺産 “しぐさ” にみる日本人のルーツ 「家の光」(社)家の光協会 1月
 ボードレールの詩を読む 「人文」35 京都大学人文科学研究所 3月
 (講演要旨) 日本人の美意識 「醍醐春秋」13 真言宗醍醐派宗務本庁 4月
 ことは贈答(天野祐吉との往復書簡 1) 「読売新聞」読売新聞大阪本社 4月10日
 ことは贈答(天野祐吉との往復書簡 3) 「読売新聞」読売新聞大阪本社 4月12日
 → [著6] に「対書のおもしろさ」として再録
 中村きい子『女と刀』(1961) 「日本小説をよむ会会報」323 日本小説をよむ会 5月
 → [著6]
 京都の水 「通販生活」77 カタログハウス 6月
 「和」と「洋」を理解し、わが家流に使いこなす
 「新・くらし文化の本」15 ナショナル住宅産業(株) 7月
 → 『新・くらし文化選書II』ナショナル住宅産業(株) (1989-9)
 ぬいぐるみの哲学 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 9月 2日
 「白河夜船」 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 10月 7日
 BGM授業 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 11月 4日
 かけそばのココロ 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 12月 2日
 → 「ぬいぐるみの哲学」のみ [著5] に再録
 漂い始めた文化 欧米比較意識 「心のレイアウト」私立学校教職員共済組合 10月
 健やかな眠り 「毎日新聞」毎日新聞社 10月 9日
 やったぜベイビー 日本小説をよむ会編「追悼 沢田間」日本小説をよむ会 11月
 → [著6] に「やったぜベイビー—沢田間」として再録
 (はがき報告) 手帳 (社)現代風俗研究会編『現代風俗'90 貧乏』リプロポート 11月
 汚辱を貧にとどめる (社)現代風俗研究会編『現代風俗'90 貧乏』リプロポート 11月

→ [著6] に「汚辱を貧にとどめる—耕治人の詩一篇をめぐって」として再録
 生活様式の変化と倫理意識 『転換期における人間8 倫理とは』 岩波書店 12月
 → [著2] に「時代の気分変化」として再録
 複製芸術論の歴史のなかで 『長谷川如是閑集』 3月報3 岩波書店 12月

<1990年>平成 2年 (65歳)

変化に富んだ地形の日本列島は、一括りにできない多様性を持っていた

「コミュニケーション」Vol.5, No.23 1月

世界都市 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 1月 6日
 趣味行列 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 2月 3日
 「TV広場」 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 3月 3日
 洗濯されるオトコ 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 4月 7日
 タッチ・ボタン 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 5月12日
 プライダルごっこ 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 6月 2日
 コンボウ芸術 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 7月 7日
 家族プログラム 「朝日新聞」朝日新聞大阪本社 8月 4日

→ 「世界都市」は [著2] に「世界都市大阪」として再録

→ 「TV広場」は [著2] に再録

→ 「洗濯されるオトコ」「タッチ・ボタン」のみ [著5] に再録

眠り まくら 「東京新聞」東京新聞社 1月 6日
 眠り 眠り盗人 「東京新聞」東京新聞社 1月13日
 眠り 気の森 「東京新聞」東京新聞社 1月20日
 眠り <夢>と<寝>の間 「東京新聞」東京新聞社 1月27日

→ 「気の森」「<夢>と<寝>の間」のみ [著4] に「気功—性・食・眠」として再録

村上春樹『象の消滅』(1985) 「日本小説をよむ会会報」331 日本小説をよむ会 2月
 → [著6]

研究所の夢 「付属ニュース・レター」創刊号 明治学院大学国際学部附属研究所 2月
 からむ文化 「訪ねてみたい [全国100選] 蕎麦の旅」カタログハウス 2月

→ [著3] に「蕎麦—からむ文化」として再録

グレゴリー・クラーク『誤解される日本人』(書評)
 「日本経済新聞」日本経済新聞社 3月25日

広場のカフカ 「群像」講談社 4月

→ [著2]

都市教育と価値教育—自然環境から都市環境へ—

「日本生命財団特別助成研究 文化教育としての環境教育の総合的研究 最終報告書」
 環境研究会 6月

→加藤秀俊編『日本の環境教育』河合出版(1991-10)

ハウスという場所 「出版月報」白地社 7月

自分と出会う 「朝日新聞」朝日新聞社 8月27日

→ [著4]

無邪気な不適応ということ 子供マンガに関連して
 『人間成長期』ミサワホーム総合研究所 8月

(講演要旨) 豊かな食文化の形成

「京の食文化」京都市商工会議所 京の食文化シンポジウム実行委員会 9月

帰れ未来へ 「中央公論文芸特集」中央公論社 9月

→ [著2]

豊かな老いへ 元氣I (今井通子との往復書簡) 「朝日新聞」朝日新聞社 11月 1日

豊かな老いへ 元氣II (今井通子との往復書簡) 「朝日新聞」朝日新聞社 11月15日

(はがき報告) 壁(社)現代風俗研究会編『現代遺跡 現代風俗'91』リプロポート 11月

<1991年>平成 3年 (66歳)

おはようということ 「京都新聞」京都新聞社 1月 4日

藤枝静男『空気頭』(1967) 「日本小説をよむ会会報」342 日本小説をよむ会 2月

- [著6]
『世界服飾文化史図鑑』(推薦文) 時代の波がふたたびラシネを求めはじめた
(パンフレット)原書房 2月
- 風俗学とテクノロジー
「武庫川女子大学生活美学研究所紀要」1 武庫川女子大学生活美学研究所 3月
→ [著5] に「テクノロジーと風俗学」として再録
(講演要旨) なぜ花が人をよんだか
「花の万博総合研究会報告書」花の万博総合研究会 6月
行方不明(黒川創との往復書簡) 「群像」講談社 8月
→ [著2] に「行方不明」として再録
- 老若男女論 「中央公論文芸特集」中央公論社 9月
かき氷 「潮」潮出版社 9月
→ 日本文芸家協会編『ベスト・エッセイ'92 菜の花忌』(株)文藝春秋(1992-4)
→ [著3]
- 布でつづる風俗「人と衣の文化誌 岡本靖子展」(案内状のことば) INAX9月19日~28日
市井さんの姿勢 鶴見俊輔・花田圭介編『市民の論理学者市井三郎』思想の科学社 10月
壁を通過する風「生活美学研究所パンフレット」武庫川女子大学生活美学研究所 11月
谷崎潤一郎に貰った着物(談話) 「面白生活」カタログハウス 11月
(はがき報告) 習い事
(社)現代風俗研究会編『恋愛空間・現代風俗'92』リプロポート 11月
恋愛ずりおち人 (社)現代風俗研究会編『恋愛空間・現代風俗'92』リプロポート 11月
日本の食美学
「京都食彩 FESTIVAL'91」全国食文化交流プラザ国際シンポジウム レジューメ
全国食文化交流プラザ事業京都府実行委員会 12月
→ [著3] に「日本の食美学メモ」として再録
- 橋本治『風雅の虎の巻』(解説) 「講談社文庫」講談社 12月
『今村太平映像評論7 日本芸術と映画』(解説) ゆまに書房 12月
ムネハダケの美学 湯上がり姿
『TAKEO KIKUTI QUARTERLY』No.7, MEN'S DIVISION WORLD
CO.,LTD. 1991~1992 AUTUMN/WINTER

<1992年>平成4年(67歳)

- 新年美学ストーリー 「読売新聞」読売新聞社 1月14日
→ [著5]
- 「阪神間文化」の故郷 「日本経済新聞」日本経済新聞社 1月26日
サバービアの「ふるさと」 「神戸新聞」神戸新聞社 2月17日
つけ義春の『李さん一家』 「国際学研究」9(明治学院論叢497) 明治学院大学 3月
→ [著2] に「つけ義春の変化意識」として再録
- 80年代の社会風俗研究(はじめに) 「ヒューマンビヘイビアの研究 時代とヒューマン
ビヘイビア」(株)ヒューマンルネッサンス研究所 3月
(講演要旨) 共同研究の手法と取り組み-京大人文研の場合- (講演日:1990-3-22)
『立法研究1 共同研究論』明治学院大学法学部立法研究会 3月
→ 『共同研究の知恵』信山社
(講演要旨) 日本の都市と欧米の都市
「マスシティとしての日本の都市」(財)日本生命財団 3月
「飢エテルの悩み」は昔も今も 「毎日新聞」毎日新聞社 3月6日
→ [著3] に「飢エテルの悩み」として再録
- 海辺に行く空想 「学園通信」150 武庫川学院 7月
「箱膳」と「ちゃぶ台」(談話) 「サライ」小学館 8月6日
妾宅について 『山海人居』ミサワホーム総合研究所 8月
→ [著4] に「妾宅論」として再録
- 喧噪と静寂の美学 「ANEMOS」8(株)長谷工コーポレーション総合研究所 10月
精神的にも即物的にも「風通し」をよくすることが「僕の美学」(談話)
「A×a たち吉」(株)たち吉 12月

架空研究所 「THIS IS 読売」 2 読売新聞社 12月
 Impersonation, “Vision of Japan”, A de S publishing inc., 1992

< 1993年 > 平成 5年 (68歳)

- “食い倒れ”を支える大阪人の味覚と心意気 (談話) 「SOFT」(財)大阪都市協会 1月
 (はがき報告) 毛 (社)現代風俗研究会編『恋愛空間・現代風俗'92』リポート 1月
 川崎長太郎『彼』 「日本小説をよむ会会報」364日本小説をよむ会 2月
 → [著6]
 “貝の中”の謎 「ちくま」筑摩書房 3月
 → [著3]
 思い出に残る一冊 三木成夫『海・呼吸・古代形象』 「有楽」2 朝日新聞社 3月
 はじめに「時代の予感」 「最適化社会の研究」3 (株)ヒューマンルネサンス研究所 3月
 「発想に関する研究」(研究会総括) 「最適化社会の研究」3 (株)ヒューマンルネサンス研究所 3月
 (講演要旨) 戦争をどう通ったかー豆自伝として(講演日:1990-1-10) 3月
 「時間・空間・体験」明治学院大学国際学部付属研究所 3月
 → [著6]に「戦争をどう通ったかー豆自分史」として再録
 (講演要旨) 生活文化の創造 「Design Scene」28/29 (財)国際デザイン交流協会 3月
 (講演要旨) 近畿文化について(講演日:1992-12-3) 3月
 「第11回近畿文化大学校講演録」第11回近畿文化大学校事務局 3月
 夢想ざり落ち人 「建築雑誌」Vol.108, No.1342 日本建築学会 5月
 オダサクはんのめでたいユーレイ 『ちくま日本文学全集54 織田作之助』筑摩書房 5月
 → [著3]
 人生論としての『貨幣論』 「思想の科学」思想の科学社 10月
 新たな「京の味」に出会う喜び 「プレジデント」プレジデント社 10月
 (講演要旨) 生活美学の三つの理念ー道・間(ま)・風(ふう)についてー
 (講演日:1992) 「日本の生活文化の徳目」生活文化フォーラム 10月
 (講演要旨) 都市の新しいビジョン 点から線へ線から面へ
 「まちづくり国際シンポジウムひょうご'92」全国地区計画推進協議会事務局 12月
 (講演要旨) 生活文化の現状と課題(講演日:1992-12-3) 12月
 「宝塚の文化を考える記録集」宝塚市・宝塚教育委員会 12月
 『阪神観』(共編著:河内厚郎・毎日新聞未来探検隊) 東方出版 12月

< 1994年 > 平成 6年 (69歳)

- 笑うレトリック 花田清輝 「思想の科学」思想の科学社 1月
 ポヨーン フワーン 「京都新聞」京都新聞社 1月 4日
 → [著5]
 ねじれ 多田道太郎著作集(内容見本)筑摩書房 3月
 「リアリティ」の底 「群像」講談社 3月
 → [著6]に「リアリティの底がぬけたードストエフスキー」として再録
 「21世紀の予兆研究」(研究会総括) 「最適化社会へ向かう人・文化・社会」(株)ヒューマンルネサンス研究所 3月
 付け文 「文藝春秋」(株)文藝春秋 4月
 → [著6]に「俳句への付け文」として再録
 (はがき報告) 休日 (社)現代風俗研究会編『アブない人体 現代風俗'94』リポート 4月
 『橋本峰雄賞』選考にあたって (社)現代風俗研究会編『アブない人体 現代風俗'94』リポート 4月
 お茶の時空 「FRONT」(財)リバーフロント整備センター 5月

●著書一覧

- ジョルジュ・ロダンバック『死の都ブリュージュ』（共訳者：黒田憲治）
思索社（1949-10）
- ジャン＝ポール・サルトル『唯物論と革命』（前半訳者：多田道太郎、
後半訳者：矢内原伊作）人文書院（1953- 5）
- アンリ・ルフェーヴル『美学入門』（翻訳）理論社（1955- 5）
『複製芸術論』勁草書房（1962- 6）
→「講談社学術文庫」講談社（1985- 6）
- 『日本人の知恵』（共著者：林家辰三郎、梅棹忠夫、加藤秀俊）
中央公論社（1962- 9）
→「中公文庫」中央公論社（1973- 7）
- 『ルソー』（編者：桑原武夫、共著者：河野健二、樋口謹一）
「岩波新書」岩波書店（1962-12）
- 『身辺の思想』（共著者：樋口謹一、加藤秀俊、山田稔）講談社（1963- 8）
- ジャン＝ジャック・ルソー『告白』（上）（中）（下）（代表：桑原武夫、
共訳者：樋口謹一、山田稔）「岩波文庫」岩波書店（1965-3,7, 1966- 5）
- 『マンガの主人公』（共著者：作田啓一、津金沢聡広）至誠堂（1965- 7）
→『昭和マンガのヒーローたち』（1987- 1, 共著者：河合隼雄、
作田啓一、津金沢聡広、鶴見俊輔）講談社
- 『自由主義』現代日本思想大系18（編著）筑摩書房（1965- 8）
- 『暮らしをデザインする』（共著者：森南海子、河野友美、迎井夏樹）
中外書房（1966- 8）
- ジュール・ミシュレ『フランス革命史』（代表：桑原武夫、共訳者：
樋口謹一）中央公論社（1968- 1）
- 『青春の記録7 愛あるところ』（編集・解説）三一書房（1968- 3）
- 『素顔のヨーロッパ』（編者：桑原武夫、共著者：梅棹忠夫、加藤秀俊、
杉本秀太郎、竹内成明、藤岡喜愛）朝日新聞社（1968-11）
→桑原武夫編『素顔のヨーロッパ』「朝日選書」朝日新聞社（1978-11）
- 『大杉栄』日本の名著46（編著）中央公論社（1969-11）
- 『日本の美学』（共編者：安田武）風濤社（1970- 4）
→ペリかん社（1978-12）
- 『大衆文学の可能性』（共著者：尾崎秀樹）河出書房新社（1971- 1）
- 『複製時代の思想』（共著者：吉田光邦、安永寿延、山本明）
富士ゼロックス（株）（1971- 4）
→『想像と創造—複製文化論—』（1973- 7, 共著者：江藤文夫、
鶴見俊輔、中岡哲郎、奈良本辰也、山本明）研究社出版（株）
- ロジェ・カイヨワ『遊びと人間』（共訳者：塚崎幹夫）講談社（1971- 4）
→「講談社文庫」講談社（1973-7）
→「講談社学術文庫」講談社（1990-4）
- 『共同討議“性”』（共著者：松田道雄、橋本峰雄、作田啓一）筑摩書房（1971- 5）
- 『管理社会の影』「読売選書」読売新聞社（1971- 9）
→『定本 管理社会の影』日本ブリタニカ（1979-10, 解説：富士正晴）
- 『論集・日本文化』（共編者：梅棹忠夫）
エッセ・スタンダード石油（株）（1971-10）
→論集・日本文化①『日本文化の構造』（1972- 5, 共編者：
梅棹忠夫）「講談社現代新書」講談社
→論集・日本文化②『日本文化と世界』（1972- 6, 共編者：
梅棹忠夫）「講談社現代新書」講談社
→論集・日本文化③『日本文化の表情』（1972- 7, 共編者：
梅棹忠夫）「講談社現代新書」講談社
- 『しぐさの日本文化』筑摩書房（1972- 7）
→「角川文庫」角川書店（1978- 4, 解説：米山俊直）

- 『ひとが生きている間』(共著者:富岡多恵子) 草思社 (1974- 7)
- 『日本人の美意識』(共著者:山崎正和、山田宗睦、田辺聖子、橋本峰雄) 朝日新聞社 (1974- 7)
- 『続・近代文学 作家とその世界②』(共著者:桑原武夫、梅原猛、飛鳥井雅道、作田啓一) 朝日新聞社 (1974-10)
- 『遊びと日本人』 筑摩書房 (1974-10)
 →「筑摩叢書」筑摩書房 (1978- 3)
 →「角川文庫」角川書店 (1980- 6, 解説:なだいなだ)
- 『日本人の生活空間』(共著者:梅棹忠夫、上田篤、西川幸治)朝日新聞社(1974-10)
 →「朝日選書」朝日新聞社 (1977- 1)
- 『野球戯評』(共著者:梅原猛、小松左京) 地球書館 (1974-11)
 →講談社<再刊> (1979-10)
 →「講談社文庫」講談社 (1982- 3)
- 『動詞人間学』(共編者:作田啓一,共著者:橋本峰雄,竹内成明)講談社 (1975- 9)
- アーノルド・トインビー『図説・歴史の研究』(代表:桑原武夫,共訳者:樋口謹一、橋本峰雄) 学習研究社 (1975-11)
- 『南アメリカ紀行』(共著者:上田篤) サンケイ出版社 (1976- 9)
- 『まげもの のぞき眼鏡』(共著者:足立巻一、鶴見俊輔、山田宗睦、山本明、清原康正) 河出書房新社 (1976- 9)
 →「旺文社文庫」旺文社 (1981-10)
- 『暮らしを考える』(共著者:橋本峰雄) ぎょうせい (1977- 8)
- ◎『クラウン仏和辞典』(共編者:大槻鉄男、佐々木康之、西川長夫、山田稔) 三省堂 (1978- 2)
- 『物くさ太郎の空想力』 冬樹社 (1978- 5)
 →「角川文庫」角川書店 (1980-11, 解説:富岡多恵子)
- 『風俗学』 筑摩書房 (1978-12)
 →「ちくま文庫」筑摩書房 (1987-10, 解説:加藤典洋)
- 『「いき」の構造」を読む』(共著者:安田武) 朝日新聞社 (1979- 3)
- 『日本語の作法』 潮出版社 (1979- 7)
 →「角川文庫」角川書店 (1984- 2)
- バーナード・ルドフスキー『みっともない人体』(共訳者:加藤秀俊) 鹿島出版会 (1979-11)
- 『現代 文章宝鑑』(共編者:小田切秀雄、谷沢永一) 柏書房 (1979-11)
- 『自分学』 朝日出版社 (1979-12)
 →『あまのじゃく日本風俗学』 「PHP文庫」PHP研究所 (1988- 1, 解説:奥野卓司)
- 『ことわざの風景』 講談社 (1980- 7)
 →「講談社文庫」講談社 (1984- 4, 解説:天野祐吉)
- 『着る』平凡社カルチャー today 1 (編著) 平凡社 (1980- 8)
- 『食の文化』(共著者:中尾佐助、加藤秀俊、河野友美、鯖田豊之、東畑朝子、宮本常一) 講談社 (1980- 9)
 潮出版社 (1981- 5)
- 『文章術』 潮出版社 (1981- 5)
 →「潮文庫」潮出版社 (1985- 1)
- 『本棚の風景』 潮出版社 (1981-10)
- 『関西 谷崎潤一郎にそって』(共著者:安田武) 筑摩書房 (1981-11)
- 『身辺の日本文化』 講談社 (1981-11)
- デズモンド・モリス『ジェスチャー-しぐさの西洋文化』(共訳者:奥野卓司) 日本ブリタニカ (1981-11)
 →「角川選書」角川書店 (1992- 2)
- 『日本語と日本人』(共著者:芳賀綏、鈴木孝夫、W.A.グロータス、寿岳章子、野元菊雄) 講談社 (1982- 5)
- 『ことばと響き』(対談集) 筑摩書房 (1982- 9)
- 『空間の原型』(共編者:上田篤、中岡義介) 筑摩書房 (1983- 3)
- ◎『ボードレール『悪の花』註釈』上・下巻(編著)京大大学人文科学研究所(1986- 3)

- 平凡社 (1988- 3)
- 『変貌する日本人』 (共著者：鶴見俊輔) 三省堂 (1986- 9)
- 『流行の風俗学』 (編著) 世界思想社 (1987- 1)
- 『日本語グラフィティ』 (共著者：谷川俊太郎) 河出書房新社 (1987- 2)
- 『ボードレール 詩の冥府』 (編著) 筑摩書房 (1988- 3)
- 『おひるね歳時記』 筑摩書房 (1993-12)
- 多田道太郎著作集 1 『ラ・フランス』 (解説対談：加藤典洋) 筑摩書房 (1994- 7)
- 多田道太郎著作集 2 『複製のある社会』 (解説対談：加藤典洋) 筑摩書房 (1994- 5)
- 多田道太郎著作集 3 『しぐさの日本文化』 (解説対談：加藤典洋) 筑摩書房 (1994- 3)
- 多田道太郎著作集 4 『日本人の美意識』 (解説対談：加藤典洋) 筑摩書房 (1994- 4)
- 多田道太郎著作集 5 『現代風俗ノート』 (解説対談：加藤典洋) 筑摩書房 (1994- 6)
- 多田道太郎著作集 6 『ことばの作法』 (解説対談：加藤典洋) 筑摩書房 (1994- 9)
- エドモン・アブー 『伯父と甥』 (翻訳) 天文書院 (1994- 4)

(付記：「著書 (単行本)」一覧中の○印は翻訳を、◎印は重要文献を表す。)

*文献の収集については、架場路子氏、中塚洋子氏、竹尾由美子氏、熊谷真菜氏、奥野有子氏、本村淳一氏の仕事によるところが大きい。目録の整理に際しては、松本佳子氏、辻川裕子氏、小苗信子氏の協力を得た。記して謝意を表す。